

# 岐阜県博物館報

第37号

2014  
岐阜県博物館

## はじめに

岐阜県博物館は、県立の総合博物館として昭和 51 年 5 月に開館して以来、「岐阜県にゆかりのあるもの」を中心とした調査研究・資料収集・保管・展示を行うことで、県民に広く学びの場を提供してまいりました。おかげをもちまして平成 26 年度で開館 38 年目を迎えます。この間、岐阜県の学術文化及び博物館教育の拠点として、大変多くの皆様にご利用いただきましたことを心から感謝申し上げます。

さて、平成 25 年度は、特別展 1 回を含め企画展を 4 回、マイミュージアムギャラリー展示を 7 回開催いたしました。特別展として開催した「弥生大集落—荒尾南遺跡が語るモノと心—」(9 月 13 日～11 月 10 日) は、東海地方最大級の規模を誇る弥生時代遺跡である大垣市の荒尾南遺跡の発掘成果から、当時の人々の暮らしぶりや精神世界を紹介する展示で、岐阜県の弥生時代についての理解を深めていただく機会となりました。

企画展として開催した「鍔の美—鍔工・成木一成の挑戦—」(4 月 27 日～6 月 30 日) では、現在となつては数少ない鍔工である成木一成氏を取り上げ、氏の尾張鍔の地鉄再現に対する挑戦とその成果である作品を紹介しました。そのほか「足もとのお宝—岐阜の鉱物資源—」(11 月 23 日～平成 26 年 2 月 2 日) では、私たちの足元に眠る貴重で魅力的な鉱物資源と鉱山史を、「岐阜県まるっと植物探検—植物誌調査からわかったこと—」(平成 26 年 2 月 15 日～4 月 13 日) では、岐阜県植物誌調査会と当館が行ってきた調査から明らかになってきた岐阜県の植物誌を紹介しました。

また、移動博物館の新たな試みとして、第 3 回「柳ヶ瀬ジュラシック・アーケード」(主催: 岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会) に協力し、恐竜の化石等を展示するとともに、それにちなんだ教育普及事業も行いました。県民の皆様に当館への関心を高めていただくよい機会となりました。

なお、11 月 7 日・8 日には、第 61 回全国博物館大会(岐阜大会)が、大盛況のうちに開催されました。大会テーマである「博物館の可能性—新たな博物館像をめざして—」のもと、博物館法の生みの親とされる棚橋源太郎氏の生まれ故郷で大会を開催できたことは、岐阜県博物館協会や当館にとっても大きな喜びがありました。今後の県内博物館のますますの充実をともに誓い合う機会となりました。

平成 26 年度は、2 つの特別展を計画しています。「奇なるものへの挑戦 明治大正／異端の科学」では、明治大正期に大流行した「精神療法」「靈術」といった超常現象に挑んだ郷土の先人たちの足跡をひも解きます。また「里山いま昔人と自然 あらたな“絆”を求めて—」では、オオカミや古い村絵図など里山や自然にかかわる資料を展示し、人と里山の関わり方を考える機会としたいと考えています。

このほか、企画展、マイミュージアムギャラリー展示、催し物など、広く県民の皆様に親しみ、学んでいただける催事を多数計画しております。また、調査研究活動、資料収集保管活動、サポート協働事業、外部機関との連携といった活動も、より一層の充実に努めてまいります。

ここに、平成 25 年度の活動の記録を紹介する「岐阜県博物館報 第 37 号」を刊行いたしました。県民の皆様をはじめ多くの方々にご高覧いただき、今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 26 年 4 月 1 日

岐阜県博物館長 後藤 弘之

# 目 次

## はじめに

### I 博物館概要

1 設置目的 .....	1
2 基本的性格 .....	
3 基本方針 .....	
4 沿革 .....	2
5 歴代館長名簿 .....	3
6 施設・設備 .....	4

### II 平成25年度のあゆみ

1 職員 .....	6
2 岐阜県博物館協議会 .....	7
3 日誌抄 .....	
4 実施事業の概要 .....	8
5 展示活動 .....	
6 調査研究活動 .....	15
7 資料収集活動 .....	19
8 教育普及活動 .....	20
9 利用状況 .....	29
10 博物館関係団体 .....	30
III 利用案内（平成26年度）.....	31

# I 博物館概要

## 1 設置目的

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を収集、保管、調査研究、公開し、併せて教育普及活動を行うことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化的な発展に寄与することを目的とする。

## 2 基本的性格

- ・岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集保管、展示、調査研究及びそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・県内外の博物館及び相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・学校・社会教育機関等との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発できるような生涯学習機関とする。
- ・館蔵資料や地域情報のデジタル化を進め、ホームページの広報機能と学習機能を充実させる。
- ・資料の収集及び保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

## 3 基本方針

### (1) 資料収集活動

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。  
資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。  
寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

### (2) 展示構成

展示は、常設展示と企画展示とする。  
常設展示は、人文・自然の2部門に分け、それぞれ総合展示と課題展示を行う。  
総合展示は、概説的な内容とし、誰もが親しめる平易な展示とする。  
課題展示は、コーナー毎にテーマを設定して、概説にとどまらない、より深く理解するための展示とする。  
企画展示は、一定期間に、特定のテーマを設定して年に数本を行う特別展・企画展などがある。  
展示は以下の点に留意する。  
・生涯学習の場として、幅広い年齢層に親しめる展示

- ・資料の単なる羅列ではなくストーリーのある展示
- ・各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示
- ・できる限り実物資料の展示とするが、図表や模型等の資料も活用した展示
- ・できる限り資料に直接触れることのできる展示
- ・視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える展示
- ・解説が明確で分かりやすい展示  
各展示室の主題と内容は、次のとおりである。
- ・人文展示室1（人文総合展示）  
主題「郷土のあゆみ」…先史時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を展示する。
- ・人文展示室2（人文課題展示・企画展示）  
主題「郷土の民俗と美術工芸」…特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。
- ・自然展示室1（自然総合展示）  
主題「郷土の自然とおいたち」…郷土の自然の概要を系統的に展示する。
- ・自然展示室2（自然課題展示）  
主題「郷土のさまざまな自然」…特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。
- ・特別展示室（企画展示）  
企画展示を行う。

### (3) 調査研究活動

- ・博物館資料に関する学術的、技術的な調査研究を行う。
- ・博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

### (4) 教育普及活動

- ・展示や博物館資料に関連した教育普及活動を行う。
- ・学校教育や社会教育の関係機関・団体との連携・協力に努める。
- ・サポーターとの協働や県民の自主活動の支援事業等を推進する。
- ・マイミュージアムギャラリーを運営し、個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示することにより、生涯学習の成果発表の場とするなど、県民文化の向上と交流を図る。

## 4 沿革

昭和 46 年 3 月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	7 月 特別展「ふるさとの昆虫」 8 月 入館者 90 万人を突破 10 月 学習ビデオスタディコーナーを設置 特別展「濃飛の蘭学」	平成 4 年 3 月 岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申
4 月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	昭和 60 年 4 月 特別展「濃飛の縄文時代」 7 月 特別展「鉱物の世界」 10 月 特別展「美濃の刀剣」 入館者 100 万人を突破 12 月 自然展示室 2 を改装	4 月 特別展「飛騨のあけぼの～交流する縄文・古代人～」 7 月 特別展「恐竜王国・恐竜～謎とロマン～」 10 月 特別展「近世に輝く濃飛の群像」 11 月 小中学生常設展入館料無料化
6 ~ 9 月	博物館懇談会を設ける	昭和 61 年 4 月 特別展「徳山の四季とくらし」 7 月 特別展「奥飛騨の自然」 9 月 人文展示室 1 を改装 10 月 開館 10 周年記念式典を挙行 開館 10 周年記念展「ふるさとの祭り」	平成 5 年 3 月 入館者 150 万人を突破 4 月 特別展「土と炎の芸術」 9 月 29 日大型は乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘 10 月 特別展「失われゆく植物」「ハイパーハイビジョン風土記」イメージショーレーションソフトの完成
昭和 47 年 4 月	博物館開設準備室を設置 展示委員会を設ける	昭和 62 年 4 月 特別展「飛騨の弥生時代」 入館者 110 万人を突破 7 月 特別展「外国から侵入した生きものたち」 10 月 特別展「飛騨の匠」 旧徳山村民家移築復元	11 月 「ハイパーハイビジョン風土記」イメージショーレーションソフトの完成
昭和 48 年 8 月	起上式挙行	昭和 63 年 1 月 自然展示室 1 を改装 4 月 特別展示室ショーケース改修 特別展「ふるさとの湿原」 中部未来博 '88 記念展「中山道～美濃十六宿～」 10 月 特別展「中生代の化石」 入館者 120 万人を突破	平成 6 年 1 月 20 日マイ・ミュージアム棟起工式 3 月 大型は乳類足跡化石を展示 4 月 特別展「川に生きる～水運と漁労～」 8 月 恐竜の歯等莊川村で発見 9 月 特別展「美濃山地の自然」 10 月 入館者 160 万人を突破 12 月 ユタ州訪問（花フェスタ'95 展示化石の借用、交流の推進）
昭和 49 年 3 月	展示実施計画樹立 10 月 定礎式	平成元年 4 月 特別展「濃飛の古墳時代」 7 月 特別展「ふるさとの野鳥」 8 月 16 日恐竜足跡化石白川村で発見 10 月 特別展「移ろいゆく年中行事」 11 月 日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」 4,000 冊の寄贈を受ける	平成 7 年 3 月 マイ・ミュージアム棟工事の完成 ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行美濃路編」ソフト完成
昭和 50 年 3 月	展示工事着手 7 月 本館建築竣工	平成 2 年 4 月 特別展「輪中と治水」 7 月 特別展「白山の自然」 恐竜足跡化石レプリカ除幕式 グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）	4 月 特別展「岐阜の淡水魚」 花フェスタ'95 にユタ州恐竜化石を展示 7 月 マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行 一般公開 8 月 恐竜ゼミナール Gifu'95 博物館サポート一組織発足
昭和 51 年 1 月	展示工事完了	岐阜県博物館協議会に「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問 入館者 130 万人を突破	10 月 特別展「美濃・飛騨の古代史発掘～律令国家の時代～」 入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共に） 県下第 1 号として「マルチメディア工房ぎふ」開設
4 月	岐阜県博物館条例公布 岐阜県博物館設置 展示資料等製作完了	10 月 特別展「濃飛の仏像」 12 月 岐阜県博物館協議会から中間答申	11 月 円空シンポジウム「世界における円空」
5 月	開館記念式典挙行 一般公開 「巨匠三人展」・「スポーツ栄光展」	平成 3 年 3 月 岐阜県博物館案内標識を設置	平成 8 年 4 月 高校生常設展入館料無料化
7 月	皇太子・同妃殿下御行啓	4 月 特別展「ふるさとの木の文化」	5 月 入館者 170 万人を突破
8 月	特別展「ふるさとの文楽」 入館者 10 万人を突破	7 月 特別展「ふるさとの哺乳動物」	7 月 開館 20 周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
10 月	入館料徵収開始	10 月 置県 120 年・岐阜鹿児島姉妹県盟約 20 周年記念展「鹿児島～その自然と歴史～」	8 月 アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学付属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
11 月	特別展「熊谷守一展」	11 月 入館者 140 万人を突破	10 月 飛騨美濃合併 120 周年記念展「岐阜県の明治維新」
昭和 52 年 5 月	特別展「日本伝統工芸秀作展」 入館者 20 万人を突破		
7 月	特別展「郷土の化石展」		
11 月	特別展「鉄斎」		
昭和 53 年 4 月	入館者 30 万人を突破 特別展「濃飛の甲冑」		
7 月	特別展「世界のコガネムシ」		
10 月	特別展「能面と装束」 入館者 40 万人を突破		
昭和 54 年 4 月	特別展「濃飛の先史時代」 7 月 特別展「世界の貝」		
10 月	特別展「濃飛の文人」 11 月 「視覚障害者コーナー」開設		
昭和 55 年 4 月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」 入館者 50 万人を突破		
5 月	特別展「化石の世界」		
7 月	特別展「蓑虫山人」		
10 月	特別展「美濃の絵馬」 5 月 入館者 60 万人を突破		
昭和 56 年 4 月	7 月 特別展「御岳山は生きている」 10 月 特別展「ふるさとの美濃古陶」		
7 月	特別展「高賀山の信仰」 入館者 70 万人を突破		
10 月	特別展「ふるさとの植物」 10 月 特別展「東洋の貨幣」		
昭和 57 年 4 月	昭和 58 年 4 月 特別展「岐阜県の考古遺物」 5 月 入館者 80 万人を突破		
7 月	特別展「長良川」		
10 月	特別展「郷土の生んだ先覚者」		
昭和 59 年 4 月	特別展「濃飛の戦国武将」		

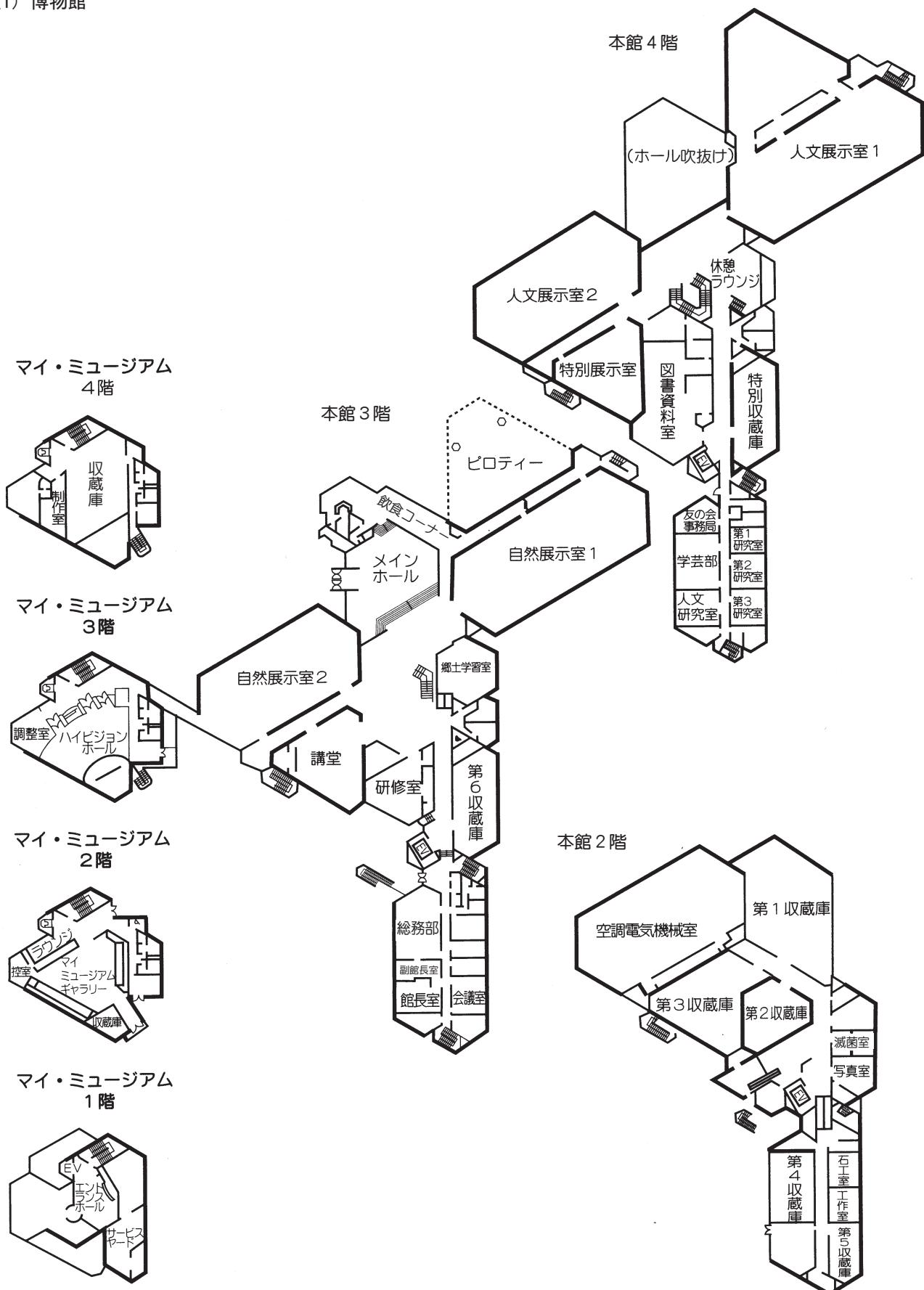
	11月 飛騨美濃合併 120周年記念「文化講演会」 講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏	ノキが見てきた生き物たち～」	5月 開館 30周年記念植樹 モリゾー・キッコロ来館 全国植樹祭中濃サテライト会場～来館者全員招待入館～
平成 9年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」中山道編ソフト完成	11月 入館者 200万人を突破 平成 13年 7月 特別展「あのころいた鳥～そういえばトキもおつたげな～」	8月 入館者 240万人を突破 飛騨美濃合併 130周年記念行事博物館 1日無料開放
4月	特別展「花と鳥のイリュージョン～江戸の学問と芸術～」	9月 特別展「七代目団十郎と国貞、国芳～芝居、錦絵、中山道～」	9月 飛騨美濃合併 130周年記念特別展「錦絵が語る美濃と飛騨」
9月	特別展「薑草のふるさと伊吹」	11月 ハイビジョン静止画番組「石ころの動物園」(マイユージアムギャラリー) 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタ 2001 グランプリ受賞	11月 文化の日博物館無料開放 平成 19年 7月 特別展「恐竜と生命の大進化～中国雲南 5億年の旅～」
11月	入館者 180万人を突破 棚橋賞受賞「岐阜県博物館“マイ・ミュージアム”～来るべき世紀の新しい博物館を目指して～」財団法人日本博物館協会表彰	平成 14年 2月 N E D O 共同研究事業太陽光発電システム完成 3月 バリアフリー対策事業小型モノレール（スロープカー）完成	9月 特別展「発掘された日本列島 2007～新発見考古速報展～」
平成 10年 3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」飛騨街道・郡上街道編ソフト完成 アロサウルス骨格標本展示	4月 特別展「温泉展～湯の華からのメッセージ～」 5月 入館者 210万人を突破 10月 特別展「中山道街道 400年」	10月 入館者 250万人を突破 11月 文化の日博物館無料開放 平成 20年 5月 日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」3,800冊の寄贈を受ける
4月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」	平成 15年 7月 特別展「昭和くらしの歩み～30年代を中心～」 9月 特別展「野の幸・山の幸、岐阜～発見！キノコと山菜、薑草の魅力～」 10月 入館者 220万人を突破	9月 特別展「骨のあるやつ」 11月 文化の日博物館無料開放 平成 21年 9月 特別展「人、和して楽しむ～岐阜の文楽～」
7月	特別展「つのつかぶとむし」	平成 16年 7月 特別展「タイムトラベル石器時代～大昔はどんなくらしをしていたの？」	10月 入館者 260万人を突破 11月 文化の日博物館無料開放 平成 22年 7月 特別展「川一カワ・イイね！～流れがつくり出す自然～」
9月	特別展「能面へのいざない～白山山麓から～」	9月 特別展「里山ミュージアム～ドングリころころオオタカびゅーん～」	11月 文化の日博物館無料開放 平成 23年 9月 開館 35周年記念特別展「濃尾震災 120年」
平成 11年 7月	特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」	平成 17年 4月 高校生以下入館料年間無料化(特別展入館料無料化)	11月 文化の日博物館無料開放 入館者 270万人を突破 平成 24年 7月 特別展「ジオペディアぎふ」
9月	入館者 190万人を突破 特別展「恐竜時代」	5月 入館者 230万人を突破 7月 特別展「線路はつづくよ～岐阜、鉄道のあゆみ～」 9月 特別展「『名水・温泉・名勝』展～水と大地のハーモニー～」	9月 特別展「飛騨・美濃の信仰と造形」 特別展「岐阜、染と織の匠たち」
10月	特別展入館者 4万人突破 特別展「水とまつり～古代人の祈り～」 特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」	平成 18年 4月 開館 30周年記念式典挙行 開館 30周年記念特別展「緑いきいき！岐阜の森」	11月 文化の日博物館無料開放 平成 25年 9月 特別展「弥生大集落－荒尾南遺跡が語るモノと心－」 11月 文化の日博物館無料開放 入館者 280万人を突破
平成 12年 7月	特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」		
9月	特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒ		

## 5 歴代館長名簿

	在職期間 (年度)	氏 名		在職期間 (年度)	氏 名
1	昭和 51 年	小幡 忠良	12	平成 9 年～平成 10 年	高田 晃
2	昭和 52 年～昭和 54 年	松尾 克美	13	平成 11 年～平成 12 年	遠藤 祐神
3	昭和 55 年～昭和 56 年	大橋 桃之輔	14	平成 13 年～平成 14 年	高橋 宏之
4	昭和 57 年～昭和 58 年	吉本 幹彦	15	平成 15 年～平成 16 年	武山 栄司
5	昭和 59 年	関谷 美智男	16	平成 17 年	下畠 五夫
6	昭和 60 年～昭和 61 年	廣田 照夫	17	平成 18 年	古川 和明
7	昭和 62 年～昭和 63 年	森崎 利光	18	平成 19 年～平成 20 年	高屋 一 行
8	平成 1 年～平成 2 年	伊藤 秀幸	19	平成 21 年	浅野 裕司
9	平成 3 年～平成 4 年	篠田 幸男	20	平成 22 年	石田 克
10	平成 5 年～平成 6 年	横山 勝津男	21	平成 23 年～平成 24 年	河合 正明
11	平成 7 年～平成 8 年	清水 廣美	22	平成 25 年～	後藤 弘之

## 6 施設・設備

### (1) 博物館



## 主要室（名称及び面積）

本館	室名	面積(m <sup>2</sup> )	マイ・ミュージアム	室名	面積(m <sup>2</sup> )
2階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0			
	第3収蔵庫	192.0			
	第4収蔵庫	99.4		マイミュージアムギャラリー	202.3
	第5収蔵庫	55.0		収蔵庫室	25.3
3階	自然展示室1	583.8	2階	自然展示室2	18.5
	自然展示室2	478.8		郷土学習室	
	郷土学習室	95.4		講堂	
	講堂	174.5		研修室	
	研修室	93.2		第6収蔵庫	
	第6収蔵庫	142.8			
4階	人文展示室1	942.3	3階	人文展示室2	192.3
	人文展示室2	478.8		特別展示室	47.0
	特別展示室	193.2		図書資料室	
	図書資料室	232.2		特別収蔵庫	
	特別収蔵庫	142.8			
本館合計		4,344.3	マイ・ミュージアム棟合計		842.7

## (2) 館外施設

### ①自然観察のこみち

館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が3か所、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、樹木にQ&Aパネルを設置している。

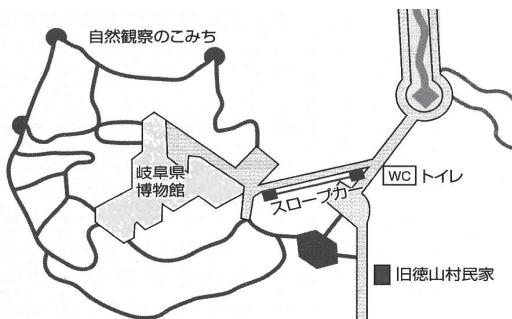
### ②旧徳山村民家

徳山ダム建設設計画に伴い、徳山村は閉村となり現在は揖斐川町になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村戸入在住の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。なお、平成13年9月、茅葺屋根の一部葺き替え（差し茅による修理）を実施した。

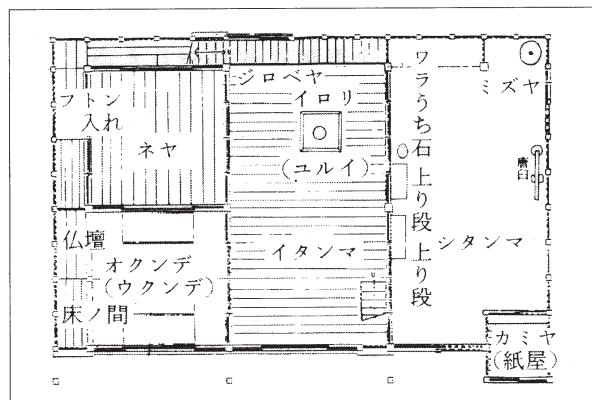
- ・様式：入母屋造茅葺2階建、南平入り
- ・主材：ブナ、トチ
- ・建面積：120.97 m<sup>2</sup>
- ・延面積：197.48 m<sup>2</sup>
- ・間取り：右図参照
- ・建築年代：幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根：入母屋、切り落とし窓つき



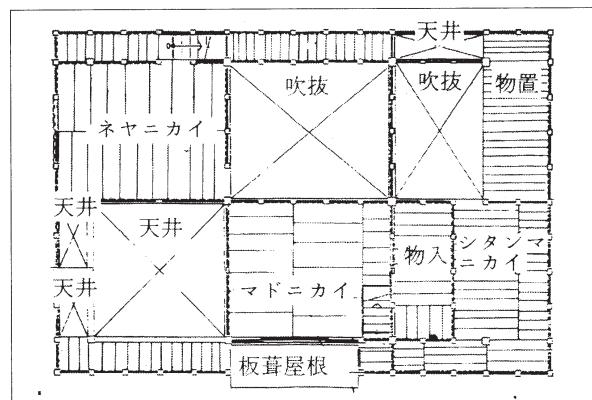
旧徳山村民家



自然観察のこみち



▲1階間取り図

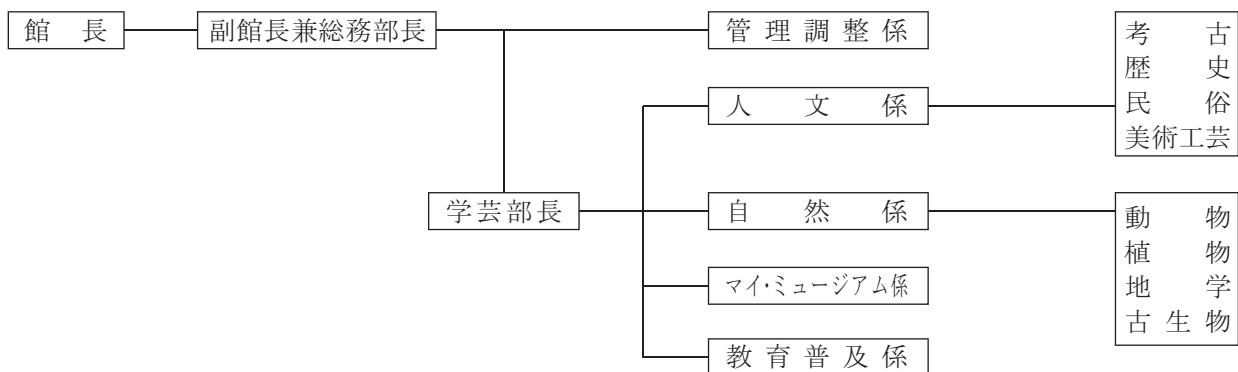


▲2階間取り図

## II 平成25年度のあゆみ

### 1 職員

#### (1) 機構



#### (2) 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	後藤弘之	【学芸部】	豊田文秀	【マイ・ミュージアム係】	加藤信男
副館長兼総務部長	宮腰哲也	学芸部長	課長補佐	河合清太	
【総務部】		[人文係]	"		
[管理調整係]		課長補佐(歴史)	山田昭彦	[教育普及係]	平澤啓介
課長補佐	田中実	"(考古)	長屋幸二	課長補佐	平澤村雄一郎
主査	杉山真弓	主査(民俗)	南本有紀	主査	澤村雄一郎
"	二村博樹	主任(美術工芸)	守屋靖裕	学芸業務専門職	翼成生
主任	大野清美	[自然係]	西谷徹	"	石田克
管理業務専門職	藤田敦子	課長補佐(地学)	船戸智		
"	米倉響子	"(植物)	説田健一		
"	中嶋睦美	主査(動物)	河部壮一郎		
"	福島江里菜	主任(地学)	久保貴志		
"	堀奈葵穂	学芸業務専門職(地学)			
"	阿部奈津希				
雇員	名知佐和子	～6.30			
"	纒纒泰子	7.1～			

#### (3) 異動

転出者	館長	河合正明	転入者	館長	後藤弘之
	課長補佐	酒井立人		主査	村博美
	主任	野村高広		主査	大野清美
	"	尾関睦治		主任	河部壮一郎
	学芸業務専門職	石井昭司		事務	翼成生
	"	野田恵光		学芸業務専門職	石田克
雇員	員	名知佐和子		"	纒纒泰子

## 2 岐阜県博物館協議会

岐阜県博物館協議会は、博物館法及び岐阜県博物館条例に基づいて設置されている機関で、岐阜県博物館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。委員は次のとおりである。

氏名	現職名
清田善樹	岐阜聖徳学園大学教育学部教授
後藤知恵子	岐阜県PTA連合会母親委員
後藤真澄	中部学院大学人間福祉学部教授
◎古屋康則	岐阜大学教育学部教授
三摩真己	NHK岐阜放送局長
高木俊徳	岐阜放送報道制作局長
高木洋	日本考古学协会会员
長瀬秀子	岐阜県小中学校長会会員 関市立瀬尻小学校長
真能秀久	中日新聞岐阜支社長
森部絢嗣	公募委員
安田たか子	安田学園虹ヶ丘幼稚園長
山田京子	岐阜県博物館友の会理事

◎会長 (平成25年12月11日現在 五十音順・敬称略)  
任期は平成24年9月24日から平成26年9月23日

### (開催状況)

月 日 12月11日(水)

場 所 岐阜県博物館 講堂

### 議題

#### ○報告事項

- (1) 岐阜県博物館の概要について
- (2) 博物館の活動について
- (3) 平成26年度の企画展等について

#### ○協議事項

岐阜県博物館の運営について  
～連携を中心として～

#### ○主な提案

- ・学校、サポーター、百年公園、大学・研究機関、他の博物館等との連携に関すること
- ・移動博物館に関すること
- ・展示の充実や見せ方の工夫に関すること
- ・ソーシャルメディアの活用に関すること
- ・博物館の魅力づくりに関すること

## 3 日誌抄

4. 1 人事異動に伴う辞令交付	10 化石プレレーター養成講座	12. 7 織細な白黒の世界～ボールペン画展～ (~1/26)
6 ネイチャーアート ～石に描く「自然讃歌」展～(~5/12)	10 (新) 夏のナイトウォッティング	14 古文書入門
13 化石プレレーター養成講座	11 関ヶ原合戦について調べよう	18 里山ウォッキング
17 里山ウォッキング	17 繩文人のくらしを体験しよう	21 鉱物アクセサリーをつくろう
20 まゆ人形をつくろう	18 火おこし器をつくろう	1. 4 春の七草ウォッキング
27 企画展「鍔の美」 ～鍔工・成木一成の挑戦～ (~6/30)	21 里山ウォッキング	7 七草がゆを食べよう
27 石をわって化石をみつけよう	31 解体部品再生アート展 (~10/6)	13 化石アクセサリーをつくろう
29 木でこいのぼり・五月人形をつくろう	31 鉱物探し～パンニング体験～	15 里山ウォッキング
5. 3 春まつりけんぱくワークショップ	9. 7 むかしたんけんたい	19 ボールペン画体験
6 竹でおもちゃをつくろう	13 特別展「弥生大集落－荒尾南遺跡が語るモノと心」 (~11/10)	2. 1 ニワトリの頭骨標本をつくろう
11 化石プレレーター養成講座	18 里山ウォッキング	8 光を感じる風景～癒しの油彩画展～ (~3/16)
12 語曲入門	21 まが玉をつくろう	8 古文書入門
15 里山ウォッキング	23 特別展記念講演会「荒尾南住人達の思いを読み解く」	9 講座「岐阜のほとけたち」 平成25年度版 講演
18 古文書入門	28 弥生の土笛をつくろう	15 企画展「岐阜県まるっと植物探検－植物誌調査からわかったこと－」 (~4/13)
18 (新) 春のナイトウォッキング	10. 5 川の生き物を観察しよう	19 里山ウォッキング
25 ☆時の輝き☆～からくり・おもしろ古時計展～ (~6/30)	12 化石プレレーター養成講座	22 気軽にはじめる鉛筆デッサン
25 魚の捕り方教えます～ビオトープの魚調べ～	14 語曲入門	3. 2 木でひな人形をつくろう
6. 1 化石のペーパーウエイトをつくろう	16 里山ウォッキング	15 企画展記念講演会「神秘のベールをぬいた岐阜県の植物分布」
8 菖蒲まつりけんぱくワークショップ	19 ねえ、遊ぼうよ！～創作人形と縮緼細工のコラボ展～ (~11/24)	19 里山ウォッキング
9 菖蒲まつりけんぱくワークショップ	19 オータムフェスティバルけんぱくワークショップ	19 モニタリングサイト 1000里地調査報告会
15 化石プレレーター養成講座	19 川の生き物を観察しよう	29 草木でコースターを染めよう
15 どうぶつたんけんたい	20 オータムフェスティバルけんぱくワークショップ（中止）	
19 里山ウォッキング	26 (新)秋のナイトウォッキング (中止)	
7. 6 チョウの鱗粉転写	11. 2 古文書入門	
7 石をわって化石をみつけよう	3 秋まつりけんぱくワークショップ	
13 Nゲージ鉄道模型作品・コレクション展 (~8/18)	16 徳山のくらしを体験しよう	
13 化石プレレーター養成講座	16 縮緼（ちりめん）でストラップをつくろう	
17 里山ウォッキング	17 縮緼（ちりめん）でストラップをつくろう	
20 川の生き物を観察しよう	20 里山ウォッキング	
21 家族で昆虫標本をつくろう	23 企画展「足もとのお宝－岐阜の鉱物資源－」 (~2/2)	
27 アンモナイトを調べよう	23 たねであそぼう	
28 民族衣装と浴衣を着てみよう	24 SEKIいきいきフェスタ2013	
28 乗鞍高山植物観察会	30 鉱物探し～パンニング体験～	
8. 3 (新) 夏のナイトウォッキング		
4 江戸時代のおもちゃをつくろう（紙づばめ）		

## 4 実施事業の概要

「県民が郷土の自然・歴史・文化を理解し、未来を展望することにより、ふるさとに一層の親しみと誇りがもてる博物館を目指します。」を平成 25 年度の運営の方針として、特別展などの企画展、マイミュージアムギャラリー展示を開催した。その他、参加体験型の教育普及事業として 73 回の催し物、学芸員による 23 回の出前授業や 6 回の講師派遣など多くの事業を展開した。特別展の開催回数については、平成 20 年度から平成 23 年度までは 1 回、平成 24 年度については 3 回行った。平成 25 年度については、1 回行うことができた。

### (1) 展示活動

特別展・資料紹介展・マイミュージアムギャラリーの展示を下表のとおり実施した。

### (2) 調査研究活動

人文分野では、企画展に関連した大垣市荒尾南遺跡をはじめとする岐阜県内の遺物・遺跡及び成木一成氏の作品と技術について調査研究を行った。また、平成 26・27 年度に開催する特別展に関する調査も実施した。自然分野では、百年公園の里山の動植物生態調査（モニタリング 1000）、手取層群及び県内石灰岩層の調査、鉱山関係の調査、県内植物分布調査、哺乳類食肉目・絶滅鳥類（ペンギンモド）の脳形態の復元などを行った。マイ・ミュージアムでは、当館

収蔵品と図書館の蔵書のデータベースの構築を行った。また、マイミュージアムギャラリー出展作品の調査研究や出展者の新規開拓を行った。

### (3) 資料収集活動

人文分野では、県内ゆかりの幕末関連資料の寄贈を受けるとともに、昭和戦前期の青少年向け出版物などを民俗関連資料として収集した。自然分野では、植物に関して標本の採集及び書画・画像の寄贈、地学に関して化石資料の採集・寄贈及び岩石・鉱物の採集と購入、動物に関して魚類標本の整理及び動物標本の剥製製作を行った。

### (4) 教育普及活動

わくわく体験コーナーでは、毎週日曜日の開催が定着したことと、魅力的な体験メニューが増えたことで、毎週大盛況であった。

団体等の利用では、学校向けの生活科・社会科・理科の学習プログラムの利用が多かった。今年度開発した学習プログラムの実施に博物館サポーターの支援を得て、充実した学びを提供した。また、今までの実践をまとめた「けんぱく教育プログラムガイド」を刊行した。

博物館サポーターの活動では、サポーター設置要綱を改定し、活動内容をより明確にするとともに、サポーター研修を義務付けるなど、制度の充実を図った。

## 5 展示活動

展示名	期間	展示内容	入館者数
常設展	年間	人文関係では、人文展示室 1 及び 2 の可変展示コーナーや独立ケースの展示替えを 15 回行った。昭和の居間再現コーナーでは季節感を出す展示替えに努めた。また、人文展示室 1 では F C 岐阜を紹介するコーナーを新設した。自然関係では、新設した可変展示コーナー（「ミニ企画コーナー」、「学芸員なう」など）を中心に約 10 回展示替えを行った。	—
企画展 「鍔の美－鍔工・成木一成の挑戦－」	4/27（土）～6/30（日）	作者である成木一成氏自身が選定した作品や同氏自作の製作工程資料を展示した。尾張鍔の地鉄の再現に対する挑戦とその成果である作品を、氏自身による解説文も交えて紹介した。鍔を究めた氏の卓越した技術を作品とともに伝えた。	11,961
特別展 「弥生大集落－荒尾南遺跡が語るモノと心－」	9/13（金）～11/10（日）	大垣市荒尾南遺跡は、弥生時代の集落としては東海でも最大級の規模であり、350 万点に及ぶ土器、1 万点を超える木製品、石器などからは、当時の暮らしをかいま見ることができる。また、土器に描かれた大型船の絵画や赤色顔料、土笛などの楽器類、様々なまつりの道具などからは、当時の人々の思いに迫ることができる。遺跡が語る、時空を超えた歴史のロマンを感じることができる展覧会となった。	11,308
企画展 「足もとのお宝－岐阜の鉱物資源－」	11/23（土）～平成 26 年 2/2（日）	岐阜の大地には長い地球の営みでつくり出された鉱物資源が至る所に眠っている。これらの鉱物資源は日本経済の発展に大きく貢献し、時には人の目を楽しませてきた。この展覧会では私たちの足元に眠る貴重で魅力的な鉱物資源と、郷土の鉱山史を紹介することで、郷土愛を深めるとともに、資源の重要性を再認識する機会となった。	5,719
企画展 「岐阜県まるっと植物探検－植物誌調査からわかったこと－」	平成 26 年 2/15（土）～4/13（日）	多様な自然環境を有している岐阜県には様々な植物が生育している。岐阜県内のどこにどのような植物が生育しているかを明らかにした「植物誌」をつくる取り組みは、30 年以上も前から行われており、岐阜県博物館は 2002 年から岐阜県植物誌調査会とともに調査や標本の精査を続けてきた。これまでに明らかになってきた植物誌を紹介する中で、岐阜に特徴的な植物、岐阜に由来のある植物などを確認しながら植物探検を楽しむことができる展覧会となった。	6,003
マイミュージアムギャラリー	(P15 参照)	『ネイチャーラート～石に描く「自然讃歌」展～』をはじめ、7 回の展示を実施した。	—

# 企画展 鎧の美—鎧工・成木一成の挑戦—

## 1 開催期間

平成 25 年 4 月 27 日（土）～6 月 30 日（日）

## 2 主催

岐阜県博物館

## 3 趣旨

成木一成氏は現在となっては数少ない鎧工（刀剣の鎧を造る職人）の一人である。昭和 56 年（1981）、中津川市から無形文化財「刀剣鎧の製作技法」の保持者に認定された。鎧の製作を製鉄から行う、稀有な鎧工である。

この展覧会では、作者である成木氏自身が選定した作品や同氏自作の製作工程資料を展示した。尾張鎧の地鉄（素材となる金属）の再現に対する挑戦とその成果である作品を、氏自身による解説文も交えて紹介した。鉄を究めた氏の卓越した技術を作品とともに伝えた。



展示を鑑賞する成木一成氏（右）

## 4 展示構成

### （1）鎧を造る

鎧とは何かを簡単に解説した。そして、「柳生鎧製作工程」によって成木氏の製作方法を紹介した。

#### 【展示品】

- ・柳生鎧製作工程 一式（8 点）岐阜県博物館蔵

### （2）美濃の四季を追う—美濃古陶器からの着想—

成木氏ははじめ陶工を志していた。しかし、父から見せられた 1 枚の鉄鎧に強烈な印象を受け、鎧工の道に進む。「美濃の四季を追う」は美濃古陶器の文様をモチーフとして鎧に表現した作品である。同氏の初心が、自分で究めた鉄に表れた連作を展示了。

#### 【展示品】

- ・美濃の四季を追う 21 枚 個人蔵

### （3）国内各地の砂鉄・鉄鉱石から—自家製鋼の道—

成木氏は自分が意図する地鉄を得るために、原材料の砂鉄・鉄鉱石を日本各地から求め、試行錯誤を重ねながら自家製鋼による鉄鎧の製作を始めた。その試行錯誤の一環として資料として整備された「鎧製

作工程」を展示し、同氏の探求の成果を紹介した。

#### 【展示品】

- ・鎧製作工程 16 組（各 4 点、計 64 点）岐阜県博物館蔵

### （4）再現、柳生三十六歌仙鎧

成木氏は柳生鎧の図案が描かれた鎧と出会い、調査研究を進めるうちに柳生三十六歌仙鎧の存在を知る。そして、10 年近い時を重ね、36 枚の鎧を復元完成した。地鉄も図案とともに再現された全 36 点を一堂に展示了。

#### 【展示品】

- ・柳生三十六歌仙鎧 36 枚 個人蔵

### （5）コンクール出展作品

成木氏はコンクールに作品を出展し、高い評価を受けてきた。作者である同氏が展示品として希望した優品 13 枚を共箱の蓋と一緒に展示了。

#### 【主な展示品】

- ・行雲之図鎧 1 枚 個人蔵
- ・権車之図鎧 1 枚 個人蔵
- ・長久之図鎧 1 枚 個人蔵

### （6）岐阜県博物館への寄贈品

成木氏は自分が製作した作品や製作工程資料を当館に寄贈している。当館が寄贈を受けた、製作工程資料以外の作品を展示了。

#### 【主な展示品】

- ・蛇鎧 1 枚 岐阜県博物館蔵
- ・沢蟹之図鎧 1 枚 岐阜県博物館蔵
- ・水車之図鎧 1 枚 岐阜県博物館蔵



展示会場の様子

## 5 関連事業

学芸員による展示解説

4 月 27 日（土）、5 月 6 日（月・振）・19 日（日）・  
25 日（土）、6 月 2 日（日）・8 日（土）・16 日（日）・  
22 日（土）、29 日（土）

各日 15:00 ~ 15:30

# 特別展 弥生大集落—荒尾南遺跡が語るモノと心—

## 1 開催期間

平成25年9月13日（金）～11月10日（日）

## 2 主催・共催・後援

主催 岐阜県博物館、中日新聞社  
共催 岐阜県文化財保護センター  
後援 NHK岐阜放送局

## 3 趣旨

大垣市荒尾南遺跡は主に弥生時代から古墳時代にかけての遺跡である。岐阜県文化財保護センター等の調査により、約300基の方形周溝墓、約600軒の堅穴建物跡などが見つかり、350万点におよぶ土器、1万点を超える木製品など多くの資料が出土している。その調査成果を広く県民に紹介する。（展示資料数 524点）

## 4 展示構成

会場前では、岐阜県立岐阜工業高等学校放送部が製作した8分ほどの遺跡紹介ビデオを放映した。高校生の目線で遺跡のなぞ解きを行い、アニメーションなども駆使してわかりやすく展示の見どころを紹介している。絶好の展示見学ガイドとなった。

展示は大きく2部で構成される。前半部では、土器に描かれた80本の櫂を持つ大型船について、何故このような絵が描かれたのかを荒尾南遺跡の特質を踏まえてアプローチした。後半部では、その他さまざまな見どころを紹介した。各エピソードが単発の話で終わらないよう「くらし」と「思い」というテーマに関連付け、一つの課題の解明が次の課題につながるよう連続性を持たせた。

### （プロローグ）課題の提示

方形周溝墓から出土した線刻絵画土器。刻まれていたのは80本の櫂を持つ大型船と帆船であった。亡くなった人の魂を送る船であろう。何故このような土器が残されたのか。課題の提示を行った。

### （1）荒尾南遺跡のあらまし

当遺跡は弥生時代の初めから古墳時代まで続いた。この地が交通の要地であることが、長く営まれた要因であろう。かつて中山道・東山道が近隣を通り、現在も鉄道・幹線道路が東西にはしる。また、遺跡の西に川が流れていることも調査で明らかになっている。陸上交通と河川交通の結節点であった。



展示風景

【主な展示資料】弥生時代前期遠賀川系土器、弥生時代各時期の弥生土器ほか

### （2）よみがえるお墓と集落

弥生時代中期頃まで調査区域は墓域であったが、

後期以降集落が広がる。集落をつくる際、墓の盛土は削られ溝は埋められた。この時も溝に土器がおさめられる。したがって、墓には葬送の際に供えられた土器と造成を受けた際の土器がみされることになる。線刻絵画土器は後者であり、死者の魂を送る船として多くの櫂を持つ高速船が描かれた理由もこのあたりにあるのかもしれない。

【主な展示資料】堅穴建物に残された土器、葬送の土器と造成の際の土器、川のほとりに廃棄された大量の土器ほか

### （3）荒尾南でのくらしあれこれ

調理用の深鍋だけでなく、高杯、壺などにもススがついている。ただしそのつき方に違いがあり、調理方法などは異なっていた。

農具と農具未成品が大量に出土し、製作の様子がわかる。それらを加工した鉄の道具は殆ど出土していないが、大量の砥石の存在や木製品に残る加工痕から鉄の道具を利用していたことがわかる。

【主な展示資料】ススの付いた土器、木製弓、石鎌、木製農具および未成品、砥石ほか

### （4）荒尾南の人々の思い

薄緑のヒスイ、金生山から持ち込まれた赤い鉄鉱石と白い石灰岩などから暮らしを彩った色彩、土笛や石琴らしきサヌカイトから音の世界を紹介した。また、貝殻やスタンプで模様のつけられた土器、木製武器形模造品などからうかがえる当時の精神世界を紹介した。

【主な展示資料】木製模造品、鳥形木製品、銅鏡、銅鐸飾耳片、巴形銅器、土笛、サヌカイト製板状石材、加飾高杯、加飾壺、バチガタ文、弧帶文などが描かれた土器ほか



博物館サポートにより復元された土笛を吹く観覧者

## 5 関連事業

### （1）特別展記念講演会「荒尾南住人達の思いを読み解く」

講師 深澤芳樹（前奈良文化財研究所副所長）

コメント 吉田裕彦（天理参考館学芸員）

9月23日（月・祝） 13:30～15:30

### （2）ミニ講座「荒尾南遺跡の謎にせまる」 岐阜県文化財保護センター職員と博物館学芸員による展示解説

10月12日（土）、10月20日（日）

各日 13:30～14:30

### （3）まが玉をつくろう

9月21日（土）13:30～15:30

### （4）弥生の土笛をつくろう

9月28日（土）13:30～15:00

# 企画展 足もとのお宝—岐阜の鉱物資源—

## 1 開催期間

平成 25 年 11 月 23 日(土)～平成 26 年 2 月 2 日(日)

## 2 主催

岐阜県博物館

## 3 趣旨

岐阜の大地には長い地球の営みで生み出された鉱物資源が至る所に眠っている。これらの鉱物資源は日本経済の発展に大きく貢献し、時には人の目を楽しませてきた。この企画展では、私たちの足元に眠る貴重で魅力的な鉱物資源と、資源を採掘するため掘られた郷土の鉱山史を紹介した。なお、本企画展では、名古屋市在住の坂本憲仁氏、岐阜市在住の新川 教氏をはじめ、多くの個人および団体に資料を提供いただいた（展示資料数 約 600 点）。



展示室前の展示

## 4 展示構成

### (1) 岩石と鉱物

鉱物とはいったい何なのか、鉱物の性質や特徴、不思議さや興味深い点に着目し、とかく難しいと思われるがちな鉱物を、できるかぎりわかりやすく解説し、身近なものとして感じていただいた。

【主な展示資料】隕石、螢光鉱物、鉱床別標本他



展示室内的様子

### (2) 役に立つ鉱物

身のまわりにある物質のほとんどは、足もとにある鉱物資源が何らかの形で関わっており、今や私たちの生活に欠かせないものとなっている。このコーナーでは、鉱石鉱物を展示すると共に、鉱物や元素が取り出される過程と、生活の中でどのようなものに使われているかを紹介した。

【主な展示資料】国内鉱山の鉱石鉱物とその関連製品

### (3) 郷土の鉱山

県内の操業中の鉱山をはじめ、かつて操業していた郷土の鉱山が産出した貴重な鉱物標本を展示した。その上で、鉱山の開発から閉山、そして現在に至るまでの鉱山が抱えたさまざまな問題について触れながら郷土の鉱山史について紹介した。

【主な展示資料】神岡鉱山をはじめ県内数ヶ所の鉱山資料

### (4) 体験コーナー

体験を通して、鉱物を感じていただくコーナーをいくつか用意し、鉱物の不思議さや面白さを感じていただいた。



体験コーナー

## 5 関連事業

### (1) 催し物「鉱物探し～パンニング体験～」

平成 25 年 8 月 31 日(土)、11 月 30 日(土)  
13:30～15:30

### (2) 催し物「鉱物アクセサリーをつくろう」

平成 25 年 12 月 21 日(土)  
13:30～15:30

### (3) 催し物「化石アクセサリーをつくろう」

平成 26 年 1 月 13 日(月・祝)  
13:30～15:30

# 企画展 岐阜県まるっと植物探検－植物誌調査からわかったこと－

## 1 開催期間

平成 26 年 2 月 15 日（土）～4 月 13 日（日）

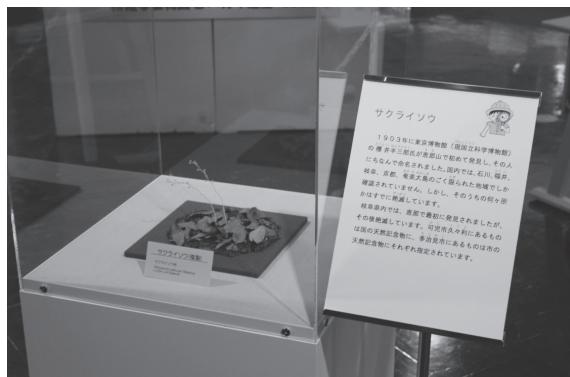
## 2 主催

岐阜県博物館

## 3 趣旨

地理的・気候的に多様な自然環境を有する岐阜県には、さまざまな植物が生育している。しかし、県内のどこにどのような植物が生育しているかを詳細に記した目録（植物誌）は今までになく、学術的にも神秘のベールに覆われた地域であった。

岐阜県博物館では、2002 年から岐阜県植物誌調査会とともに、県内に生育する植物の分布調査や標本の精査を続けてきた。本企画展では、その過程で明らかになってきた岐阜県の多様な植物を、写真や当館収蔵資料（約 100 点）をもとに紹介した。



展示室入口の様子

## 4 展示構成

### (1) 多様な植物を誇る ふるさと岐阜県

岐阜県は、海拔 0m 地帯から 3000m 級の山々までを有し、南北に長い地理的特徴があるため、県内をぐるっと探検することで、丘陵帯から高山帯に生育する植物、太平洋側・日本海側に特有な植物を見ることができる。このコーナーでは、明らかになってきた岐阜県の多様な植物について解説した。

【主な展示資料】分布に特徴的な植物、絶滅危惧種

### (2) ふるさとまるっと植物探検

これまでに岐阜県では、およそ 2490 種の植物の分布が確認されている。その中には、①岐阜県では広く分布するのに、他県ではあまり見ることができない植物、②以前はよく見かけたのに、最近では見かけなくなった植物、③岐阜県で初めて発見され、その地域の名前がつけられた植物、などが含まれる。このコーナーでは、県内各地に生育するそれら特徴的な植物

や、県内の各地域でよく見られる植物を、写真やレプリカ、押し葉標本をもとに紹介した。

【主な展示資料】飛騨エリア、西濃エリア、東部エリアにおける特徴的な植物



展示室内の様子

### (3) 裏側見せます 植物誌調査の実際

博物館に収蔵されている植物標本に記載されている情報をもとにすれば、県内のどこにどんな植物があるかを把握することができる。このコーナーでは、その証拠標本を採集してから活用されるまでの過程について、写真や博物館収蔵資料をもとに紹介した。

【主な展示資料】資料収集の様子、研究に活用される資料

### (4) 体験コーナー

洗剤として活用できる植物、服にまとわりつく厄介だが、そのまとわりつく実を用いてゲームができる植物など、実際に身近に見られる植物に触れるコーナーを設置した。



体験コーナー

## 5 関連事業

### (1) 記念講演会「神秘のベールをぬいた岐阜県の植物分布」

岐阜大学名誉教授 高橋 弘氏

平成 26 年 3 月 15 日（土）

14:00～15:30

## マイミュージアムギャラリー

### 1 展示内容

	展 示 会	展 示 内 容	
1	ネイチャーアート ～石に描く「自然讃歌」展～  出展者 太田 勇（岐阜市） 平成 25 年 4 月 6 日（土） ～ 5 月 12 日（日）	川原の石に動植物を描いた作品展。川原に転がる様々な石に野鳥や川魚、昆虫などを水彩画で精密に描いたアート作品（石画）115 点に加え、動植物の細密イラストや自然をテーマにして描いたポスターなども展示した。	
2	☆時の輝き☆ ～からくり・おもしろ古時計展～  出展者 下村 洋一（下呂市） 平成 25 年 5 月 25 日（土） ～ 6 月 30 日（日）	からくり時計やユニークな動きのある古時計のコレクション展。約 40 年間に蒐集した江戸時代から昭和中期までの 1000 点余の古時計コレクションの中から、見て楽しい機械時計を中心に 500 点余を展示した。	
3	N ゲージ鉄道模型 作品・コレクション展  出展者 和田 慶一郎（瑞浪市） 平成 25 年 7 月 13 日（土） ～ 8 月 18 日（日）	改造制作及び収集した N ゲージ鉄道模型の作品・コレクション展。旧国鉄時代から最新の車両まで 200 編成余を展示した。また、全国の鉄道を乗り歩く中で購入した入場券や乗車券など 700 点余の展示も行った。	
4	解体部品再生アート展  出展者 池田 三太郎（高山市） 平成 25 年 8 月 31 日（土） ～ 10 月 6 日（日）	自動車や重機の解体部品を使って制作したオブジェの作品展。部品の形状を活用し、様々な組み合わせて溶接し、四天王像や小鳥、猫、蛙、ひまわりなど、神仏や動植物に見立てた作品 180 点余を展示した。	
5	ねえ、遊ぼうよ！ ～創作人形と縮緬細工のコラボ展～  出展者 吉村 京子（各務原市） 平成 25 年 10 月 19 日（土） ～ 11 月 24 日（日）	古布を使って制作した創作人形と縮緬細工の作品展。様々な技法を用いて制作したボーズ人形、球体関節人形、抱き人形、三つ折れ人形などの創作人形及び、明治時代の縮緬を用いて制作した小物 300 点余を展示した。	
6	繊細な白黒の世界 ～ボールペン画展～  出展者 東濃ボールペン画同好会 伊藤 邦悟（愛知県瀬戸市） 平成 25 年 12 月 7 日（土） ～平成 26 年 1 月 26 日（日）	東濃地区を中心としたボールペン画の爱好者 100 名が制作したボールペン画の作品展。市販のボールペンを駆使し、黒一色の線を幾重にも重ねて緻密に描写した仏画、美人画、動物画等の作品 130 点余を展示した。	
7	光を感じる風景 ～癒しの油彩画展～  出展者 太田 順子（関市） 平成 26 年 2 月 8 日（土） ～ 3 月 16 日（日）	長男の不慮の死による悲しみを乗り越えながら制作した油彩画の作品展。油彩画でありながら水彩画のような柔らかいタッチで描かれ、光や温もりが感じられる風景画、デザイン画、模写作品など 100 点余を展示した。	

## 2 出展者による講座・実演等の開催

観覧者と出展者、あるいは観覧者同士の情報交流やふれあいの場として、また、体験を通して展示内容についての理解を深めてもらうために、出展者が主催者となって催し物を開催した。

### (1) 第5回展示

#### 「ねえ、遊ぼうよ！～創作人形と縮緬細工のコラボ展～」

講座 「縮緬でストラップをつくろう」

日時 平成25年11月16日（土）・17日（日）

13:30～15:30

講師 吉村 京子

場所 講堂

吉村氏の指導のもと、縮緬を用いた椿のストラップづくりを行った。縮緬や鈴は様々な色があり、受講者は気に入ったものを選ぶことができた。また、工程表も準備されていたため、参加者のペースで制作を進めることができた。全員が時間内に作品を完成させることができ、その出来栄えにも満足していた。



「縮緬でストラップをつくろう」の様子

### (2) 第6回展示

#### 「織細な白黒の世界～ボールペン画展～」

講座 「ボールペン画体験」

日時 平成26年1月19日（日）

13:00～15:00

講師 伊藤 邦悟

場所 講堂

伊藤氏の指導のもと、ボールペン画の制作体験を行った。ボールペン画の基礎となる、濃さを変えて塗る方法や、線と円で塗る方法を学んだ後、あらかじめ下絵が描かれた紙（ポストカード）にボールペンで色をつける作業を行った。1本のボールペンで濃淡を変えることで、立体感のある作品を完成させることができた。

### (3) 第7回展示

#### 「光を感じる風景～癒しの油彩画展～」

講座 「気軽にはじめる鉛筆デッサン」

日時 平成26年2月22日（日）

13:30～15:30

講師 太田 順子

場所 講堂

太田氏の指導のもと、絵画制作の基礎となる鉛筆デッサンの体験講座を行った。鉛筆の持ち方やシェーディングという技法の練習を行った後、実際にリンゴとバナナのデッサンに挑戦した。太田氏の実演を見たり、コツを教えてもらったりしながら制作を進め、多くの受講者が時間内に作品を完成させることができた。



「気軽にはじめる鉛筆デッサン」の様子

これらの講座の他にも、展示期間中には、出展者による制作実演や体験会が随時行われた。

- ① 第1回展示 「ネイチャーアート～石に描く自然讃歌」展～
  - ・出展者による制作実演会を実施。
- ② 第3回展示 「Nゲージ鉄道模型 作品・コレクション展」
  - ・Nゲージ鉄道模型の運転会を実施。



第1回展示における製作実演の様子

## 6 調査研究活動

### (1) 人文部門

#### ①考古分野

##### ア 展示にかかわる調査研究

特別展「弥生大集落～荒尾南遺跡が語るモノと心～」や常設展示の改変にかかわる資料調査を行った。また、来年度開催する発掘速報展「発掘された飛騨美濃の歴史」で紹介する遺跡や資料について、岐阜県文化財保護センターの協力を得て調査を進めている。

特別展にかかわる調査では、サヌカイト製板状石材が石琴である可能性を調整のあり方から示すなど、踏み込んだ視点をいくつか提示することができた。中でも、自然担当とともに、土器施文原体としてオキシジミなどが用いられたことを示すことができたのは、総合博物館ならではの成果であった。土器模様の型取り・観察や、貝殻の散布状況（獲得環境）の調査などを行い、成果は特別展図録で紹介した。

常設展示については、岐阜県文化財保護センター資料紹介コーナーの展示替えや、パネルの更新などを進めた。

##### イ 寄贈資料・館蔵資料にかかわる調査研究など

寄贈を受けた館蔵資料の多くは不時発見の採集品である。未報告資料が多いため、『岐阜県博物館調査研究報告』において資料紹介を行っている。今年度は加茂郡白川町小丸山遺跡で採集された石器・土器などの資料について図化し、紹介した。

小丸山遺跡は、白川町誌では町内最古の先土器（旧石器）時代遺跡とされているが、確認できたのは縄文時代草創期の石器であった。縄文時代中期等の石器石材は、下呂石だけでなくチャート岩や黒曜岩の利用が目立ち、山を介して八百津や恵那・中津川方面との結びつきがうかがわれた。弥生時代中期の土器などもみられ、山間における弥生時代遺跡の好例である。

#### ②歴史分野

##### ア 展示にかかわる調査研究

平成 27 年度特別展「天下人の時代（仮）」を開催予定である。岐阜の地は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三人が統一権力を形成していくなか、重要な役割を果たした。今回岐阜県に関わるものを中心として「天下人」に関する文化財を展示し、実物からその価値を理解するとともに織豊政権の形成にこの地が果たした役割を探る展覧会を計画している。それに関連して、資料調査を県内外にわたり継続実施中。

##### イ 寄贈資料・館蔵資料などにかかわる調査・研究

昨年度、集中して進めた館所蔵資料の悉皆調査作業の追加調査を実施した。また、公開講座・出前講座の実施等にともない、館蔵の古文書や県内古文献等の調査研究を進め、成果の一端は『岐阜県博物館調査研究報告』に発表した。今後もこうした活動の掘り起こしに努め、今後の展示・調査活動に資することができる

よう心がけたい。

#### ③民俗分野

##### ア 常設展示にかかわる調査研究

本年度も昨年に引き続き、常設展示（人文展示室 1）の「郷土の百年」コーナーについて展示替えを実施した。

まず、岐阜国体（昭和 40 年）展示を撤収し、ぎふ清流国体展示に更新した。また、展示の一部に、今年度より県を挙げての広範な支援が開始された FC 岐阜についての展示コーナーを新設した。展示資料は、前者は国体推進局より、後者は株式会社岐阜フットボールクラブから借用した。

また、戦時中、県内で生産された金属代替品や当時の児童文具類の個人コレクションを借用、展示公開した。今後も、継続して資料整理、展示の予定である。

##### イ 特別展にかかわる調査研究

引き続き、平成 26 年度特別展の準備作業にあたった。本年度は研究者・有識者への取材を重ね、テーマの具体・焦点化を図った。出展候補資料の所在調査と借用交渉を進め、出展目録の完成を目指している。合わせて、関連イベントを企画準備した。

#### ④美術工芸分野

##### ア 平成 25 年度企画展にかかわる調査研究

昨年度から引き続き、企画展「鍔の美—鍔工・成木一成の挑戦—」開催に向けて調査研究を行った。作品の実査、写真観察、作者である成木氏や関係者への聞き取り調査、文献涉獵などを実施した。それらの成果によって、会場内パネルを執筆・編集し（一部は成木氏執筆）、展示解説（ギャラリートーク）を実施した。

会期終了後に展覧会図録を発行することになり、企画展開幕後も調査研究を継続した。企画展の成果を改訂増補する方針で、作品の実査、写真観察、成木氏への聞き取り調査、文献涉獵などを実施し、図録を執筆・編集した。また、すべての展示品の新規撮影を行い、図録へ掲載すると同時に良質な写真資料を当館に蓄積した。成木氏とは図録発行について終始協議を続け、同氏の意向を反映させた。同氏が執筆した文章も図録に掲載した。

##### イ 岐阜県の宗教彫刻にかかわる調査研究

外部の機関や所蔵者から宗教彫刻に関する依頼・相談等が寄せられることがある。これらを引き受けて行う活動は、岐阜県博物館が外部と連携・協働しながら行う社会活動と位置付けてよい。ただし公共に益することができない、個人の財産の査定などは引き受けていない。

平成 25 年度も依頼・相談等に応じる機会があった。その中には、県・市町村教育委員会が関与する宗教彫刻の現地調査もあった。専門家の目が届いていない文化財が、岐阜県にはまだ多く遺されているようである。今後も県内の宗教彫刻の状況を把握し、調査研究や文化財保護活動などに資するよう努めたい。

## (2) 自然部門

### ① 動物分野

#### ア 主な研究テーマ

- (ア) 里地里山に生息する動物の生態について
  - (イ) 戦前の鳥獣採集家および博物学標本商について
  - (ウ) キノコ食甲虫の生態について
- イ 書籍・論文など
- (ア) 折居彪二郎研究会（分担執筆）2013. 鳥獣採集家 折居彪二郎採集日誌～鳥学・哺乳類学を支えた男～. 609p, 一耕社出版, 苛小牧.
  - (イ) 説田健一 2014. 柳原要二が記した『日本鳥類野外観察見聞日誌』について. 岐阜県博物館調査研究報告, 35, 11-30.
  - (イ) 向井貴彦・長野浩文・長野光・宮島弘佳・千藤克彦・説田健一 2014. 岐阜県での分布が確認されたボウズハゼおよび証拠を伴う外来魚5種の記録. 岐阜県博物館調査研究報告, 35, 1-9.

#### ウ 学会発表など

- (ア) 説田健一・小林さやか・平岡考 2013. 旅するアカコッコ～糸山徳太郎が同好者と交換した八丈島産鳥類標本の行方を探る～. 日本鳥学会2013年度大会, 名古屋.

#### エ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) ダチョウ組（動物標本作製サークル）、百博会、岐阜の魚研究会、クモ研究会、モニタリングサイト1000里地調査グループ、昆虫標本整理グループの運営

#### オ 他団体との調査活動

- (ア) ウシモツゴを守る会（ウシモツゴの生息と保護にかかる調査）
- (イ) 折居彪二郎研究会（鳥獣採集家折居彪二郎の日誌等の調査）

### ② 植物分野

#### ア 主な研究テーマ

- (ア) 種子の飛行メカニズムについて
- (イ) 岐阜県博物館と連携した教師教育プログラムの開発

#### イ 書籍・論文など

- (ア) 船戸智 2014. 理科の基本概念「地球」の再検討とその育成を図る地域教育資源の開発に関する研究. 科学研究費・研究成果報告書. 78-79
- (イ) 船戸智 2014. 子どもの科学的リテラシーを育成する教育システムの開発に関する実証的研究. 科学研究費・研究成果報告書. 120-121

#### ウ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) モニタリングサイト1000里地調査
- エ 他団体との調査活動
- (ア) 岐阜県植物誌調査会（県植物誌編纂関係調査）
  - (イ) 岐阜県植物研究会（岐阜県内の植物の調査）
  - (ウ) 岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会（岐阜県環境生活部自然環境保全課と共に）

### ③ 地学分野

#### ア 主な研究テーマ

- (ア) 化石種を含む鳥類及び哺乳類における脳形態の三次元幾何学的解析
- (イ) 日本産カキ化石に基づく古環境解析
- (ウ) 手取層群の堆積相解析
- (エ) 大垣市赤坂周辺の石灰岩調査

#### イ 原著論文等

- (ア) Kawabe, S. et al. 2013. Relationship between brain volume and brain width in mammals and birds. *Paleontological Research* 17:282-293.
- (イ) Kawabe, S. et al. 2013. Variation in avian brain shape: relationship with size and orbital shape. *Journal of Anatomy* 223: 495-508.
- (ウ) Kawabe, S. et al. 2014. Enigmatic affinity in the brain morphology between pectoralids and penguins, with comprehensive comparison among water birds. *Zoological Journal of the Linnean Society* 170: 467-493. その他1件

#### ウ 国際学会発表

- (ア) Kawabe, S. et al. 2013. Variation in avian brain shape: relationship with size and orbital shape. 10th International Congress of Vertebrate Morphology, Barcelona, Spain.
- (イ) Kawabe, S. 2013. Enigmatic affinity in brain morphology between pectoralids and penguins with comprehensive comparison among water birds. Society of Vertebrate Paleontology, 73rd Annual Meeting, Los Angeles.

その他1件

#### エ 国内学会発表

- (ア) 久保貴志. 2013. 下部ジュラ系から産出する“Ostera”的古生態. 日本古生物学会第163回例会, 兵庫県.
- (イ) 河部壮一郎ほか 2013. 食肉目における嗅覚および眼窩サイズの水棲適応. 第29回日本靈長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会, 岡山県. その他7件

#### オ 館内サークル活動の企画及び運営

- (ア) 化石・岩石に関するサポーター活動の見直し
- カ 他団体との調査活動
- (ア) 福井県立恐竜博物館との共同調査
  - (イ) 岐阜大学教育学部との共同研究
  - (ウ) 東京大学総合研究博物館との共同研究
  - (エ) 名古屋大学理学部との共同研究
  - (オ) 東北大学理学部との共同研究

### (3) マイ・ミュージアム部門

マイ・ミュージアム部門では、マイミュージアムギャラリー展示に係る業務とマイ・ミュージアム業務から構成されている。

マイミュージアムギャラリー展示に係る事業は、マイ・ミュージアム棟 2 階の展示室にて「岐阜県に在住、在勤及びゆかりのある個人又は団体（法人等）」が長年にわたって、調査・研究・収集されている貴重なコレクションを、広く展示公開する業務である。

また、マイ・ミュージアム業務は、当館収蔵資料のデータベース構築に係る業務として収蔵品をはじめ有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行う業務（デジタルアーカイブ）及び、インターネット公開に係る準備業務、並びに風土記データの有効利用に係る業務で構成されている。

#### ① マイミュージアムギャラリーについて

##### ア 運営の概要

生涯学習時代、県民が個人的に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、大変すばらしいものが多数存在する。こうした背景から、県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、マイミュージアムギャラリーが開設された。ここでは、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行うなどの多目的な活用も図られている。博物館では一定期間、展示を公開する場の提供と側面支援を行うことで各展示前に定める目標の達成を目指している。

展示計画は、出展申し込みのあった展示内容をもとに、マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の意見を参考にして年 7 回の展示会が決定される。なお、出展者の募集や出展調査は常時行っている。

##### イ マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の開催

- ・日時 平成 25 年 10 月 22 日(火)10 時～ 11 時 30 分
- ・場所 本館会議室

##### ウ 展示記録「マイ・コレクション」(展示紹介チラシ) 発行

展示紹介チラシ「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。これを展示会場内で観覧者に配布するとともに、出展者が自主的に行う広報活動の資料として活用した。平成 25 年度は 7 年度からの通番で、第 138 号から第 144 号までを発行した。チラシ等の配付における来館効果を母平均推定 95% 確率で統計学的に推定した結果、8.9% から 19.5% 内でチラシには来館誘導効果があることが分かり、平成 25 年度も平成 24 年度と同様に「マイ・コレクション」を関係各所に配布し効果を得た。結果は下記のように、各展覧会で前年度各回の来館者数の中央値（メジアン：Me）を上回る結果となった。

##### (ア) ネイチャーアート ～石に描く「自然讃歌」展～

(32 日間) : Me との比較 205%

(イ) ☆時の輝き☆ ～からくり・おもしろ古時計展～

(32 日間) : Me との比較 433%

(ウ) N ゲージ鉄道模型 作品・コレクション展

(32 日間) : Me との比較 204%

(エ) 解体部品再生アート展 (33 日間) : Me との比較 183%

(オ) ねえ、遊ぼうよ！ ～創作人形と縮緼細工のコラボ展～

(32 日間) : Me との比較 442%

(カ) 繊細な白黒の世界 ～ボールペン画展～

(39 日間) : Me との比較 208%

(キ) 光を感じる風景 ～癒しの油彩画展～

(32 日間) : Me との比較 136%

#### エ 博物館同人としての登録

平成 25 年度までに 207 名の同人登録がなされており、往復ハガキなどを用いて、マイミュージアムギャラリーに関する意見や新規の出展者情報を収集している。

#### オ 観覧者、出展者への意識調査の実施と分析

観覧者にマイミュージアムギャラリー展示の満足度調査を行った。展示会終了後には、出展者にも満足度調査を行っている。調査結果については、分析と考察を行い、展示等の改善につなげている。

また、図 1 に示すように観覧者の満足度は高く、展示内容とともに効果的な展示を行えたものと考えている。また、マイミュージアムギャラリーの良さを問う項目では「観覧が無料であること」、「いろいろな作品が見られ、出展者との交流により趣味が深められた」に高い満足度を認めることができ、県民相互の文化情報の交流に寄与できたものと考える。

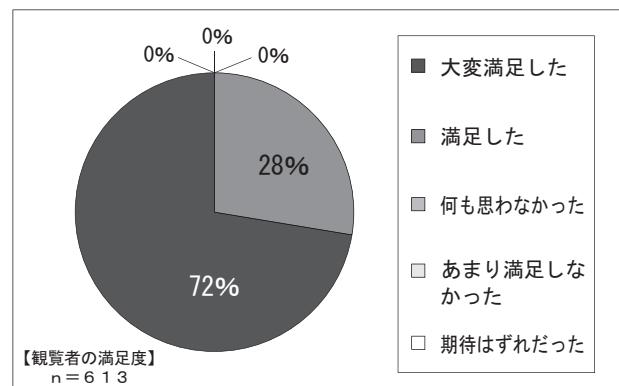


図 1 観覧者の満足度 (n=613 : 平成 25 年度 4 月～ 3 月)

更に、図 2 から出展者の高い満足度を認めることができる。また、マイミュージアムギャラリーの存在価値を問う項目では、その存在価値をいろいろな観点から「価値有り」とした回答が多く高評価を得ることができた。

以上の結果から、マイミュージアムギャラリーの運営は、当初の目的を充足したものといえる。しかし、いずれも例年と同様の結果を得たにすぎず、更なる改善が必要であることが明らかとなった。

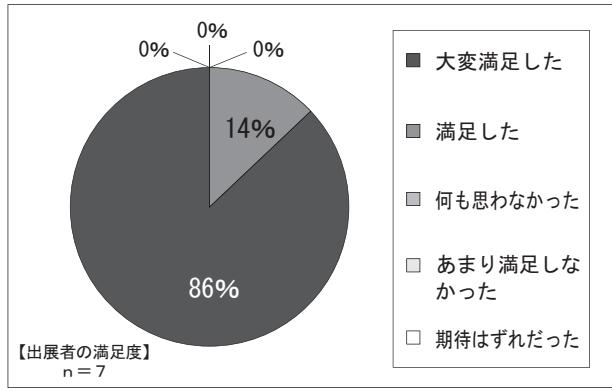


図 2 出展者の満足度 (n=7 : 平成 25 年度)

また、平成 24 年度に出展者支援及び観覧者の満足度向上のために、作品のキャプションや説明文の記述方法についての研究を行った。その結果を平成 25 年度も展示会に活かしたところ、読み手の読解方略を体系的に利用しやすいキャプションで示すことができた。こういった研究も含め今後も出展者支援や観覧者の満足度向上に努めたい。

## 力 平成 25 年度の出展申し込み

平成 26 年度出展候補として、計 16 件の申し込みがあった。申込みの内容は、コレクションと作品のバランスもよく、様々な年代の観覧者の興味・関心を喚起されることが期待できるものであった。

## キ 平成 26 年度展示計画及び今後の課題

平成26年度出展候補16件の中から、7件の採用についてマイミュージアムギャラリー展示計画懇話会にて会員から意見を聴き決定した。また、年間をとおしての展示内容のバランスを考えて、作品とコレクションの選択数や生涯学習の成果発表の場を提供するために、グループ出展についてはも出展を可能にする等が今後の検討課題である。

## ○マイミュージアムギャラリー展示計画懇話会の構成

氏名	所属
岩田 伸雄	社会福祉法人万灯会 理事長
浦田 伸司	岐阜県公民館連合代表（会長）
後藤 信幸	岐阜県社会教育委員連絡協議会代表（副会長）
多治見正彦	関市教育委員会生涯学習課長
武藤 茂子	岐阜県地域女性団体協議会代表（顧問）
吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長
若宮 多門	岐阜県博物館協会会长

(五十音順)

## ② マイ・ミュージアムについて

マイ・ミュージアム棟が開設された平成7年頃はマルチメディアが珍しい時代であったが、現在は一般的のパソコン上で動画を編集することさえ特別ではなくなり、

マルチメディアの普及や啓発を継続する意義は薄れてきた。他方、昨今の財政難により、機器の更新はもちろん、老朽化した既設機器の維持管理が困難な状況となり、稼働している機器を休止せざるを得なくなつた。

しかし、博物館事業において情報通信機器を活用する必要性が失われた訳ではなく、引き続き、情報化が不可欠な分野における機能低下を最小限に食い止め、制約がある中で情報を最大限発信できるよう、システム等の改善や整備に重点を置いた事業を推進する。

## ア 収蔵資料データベースの運用

当館では、平成 21 年度末、全国の博物館や美術館でサーバを共有するサービス (SaaS) に当館に収蔵されているデータを移行する作業を実施した。そして平成 23 年度にサービス提供業者と利用契約を結集し、インターネット公開を視野に入れた収蔵資料データベースの本格的な運用を開始した。また、収蔵資料データベースと風土記については、デジタルアーカイブ事業としてロードマップを作成し目標を明確にした。その中の、図書資料のデータベース化については、目標を前倒しにし、平成 24 年度にデータの移行を完了した。図書担当職員の業務効率の向上のための支援を行っている。また、インターネットの公開については平成 29 年度を目指して風土記閲覧システムについては平成 27 年度を目指し業務を進めている。



#### 【デジタルアーカイブロードマップ】

また、現物実査の成果をデータベースに登録し、データを精緻化することで収蔵品を一元管理することが可能となった。今後は、データベースへの登録内容の充実とデータの充填率の向上に数値目標を定め、学芸員間の研究に資する情報源として利用できるよう、業務を進める予定である。

## イ ハイビジョンホールの活用

ハイビジョンホールでは、外部団体の見学や各種講演会・講習会・イベントなどの会場として利用を図った。また、特別展期間中の休日や祝祭日には、展覧会等に関連するDVD作品の上映を行った。今後は、ハイビジョンホールの活性化を重点においていた施策を打ち出していきたい。

## 7 資料収集活動

### (1) 収蔵資料数

#### ① 人文分野

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

分 野	資 料 数 (件)
考 古	460
歴 史	1,381
民 俗	1,655
美 術 工 芸	1,277
合 計	4,773

#### ② 自然分野

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

分 野	資 料 数 (件)
動 物	29,137
植 物	90,709
岩 石 鉱 物	2,091
化 石	1,638
合 計	123,575
総 合 計	128,348

### (2) 平成 25 年度寄贈資料一覧

#### ① 人文分野

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

資 料 名	件数	資 料 名	件数
成木一氏関連資料	7	郡上市白鳥町採集石製土掘り具ほか	1
横倉喜三次関連資料	1	大団扇	1
地方文書	1	玩具	1
木挽き道具	1	漆器膳	1
衣料品	1	ハエ取り	1
籐製バスケット	1	水筒	1

#### ② 自然分野

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

資 料 名	件数	資 料 名	件数
ニホンミツバチの巣	1	イカル	1
魚類標本	160	ホオジロ	1
チョウ類標本	31	化石入り岩塊	1
テン	1	鬼板などの珪石資料	32

### (3) 平成 25 年度購入資料一覧

#### ① 人文分野

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

資 料 名	点数
なし	0

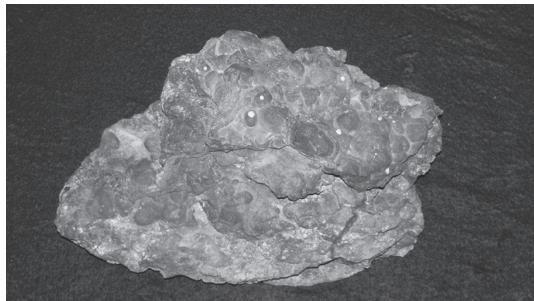
#### ② 自然分野

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

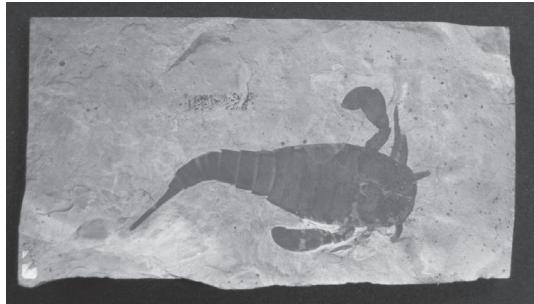
資 料 名	点数
蛍光鉱物	16
ファントム水晶	2
古代魚の歯のレプリカ	4
ウミサソリの化石など	5



【郡上市白鳥町採集石製土掘り具ほか】



【鬼板】



【ウミサソリの化石】

## 8 教育普及活動

### (1) 教育普及活動

#### ① 催しもの開催状況

催し物は、主に子どもとその家族を対象とした「けんぱく教室」や主に大人を対象とした「講座・講演会」に大別し、自然、人文、教育普及、マイミュージアムの各係が担当する多様な講座を計74回を実施した

(うち中止2回)。企画展に関連しては、前・奈良文化財研究所副所長の深澤芳樹氏による特別展記念講演会「荒尾南住人達の思いを読み解く」をはじめ、「弥生の土笛をつくろう」、「鉱物アクセサリーをつくろう」、「化石アクセサリーをつくろう」などを実施し、企画展の知見を深める機会を提供した。

<催しもの開催状況一覧>

事業名	期日	定員	参加	内容
体験教室	4/20	20名	10名	まゆ人形をつくろう
	4/27	30名	32名	石をわって化石をみつけよう
	4/29	40名	25名	木でこいのぼり・五月人形をつくろう
	5/ 3	なし	46名	春まつり けんぱくワークショップ
	5/ 6	20名	56名	竹でおもちゃをつくろう
	5/18	20名	19名	(新) 春のナイトウォッキング
	5/25	20名	24名	魚の捕り方教えます ~ビオトープの魚調べ~
	6/ 1	30名	32名	化石のペーパーウェイトをつくろう
	6/ 8	40名	83名	菖蒲まつり けんぱくワークショップ
	6/ 9	40名	93名	菖蒲まつり けんぱくワークショップ
	6/15	20名	20名	どうぶつたんけんたい
	7/ 6	20名	11名	チョウの鱗粉転写
	7/ 7	30名	34名	石をわって化石をみつけよう
	7/20	20名	19名	川の生き物を観察しよう
	7/21	20名	17名	家族で昆虫標本をつくろう
	7/27	30名	30名	アンモナイトを調べよう
	7/28	15名	17名	民族衣装と浴衣を着てみよう
	8/ 3	20名	23名	(新) 夏のナイトウォッキング
	8/ 4	20名	18名	江戸時代のおもちゃをつくろう (紙つばめ)
	8/10	20名	21名	(新) 夏のナイトウォッキング
	8/11	20名	28名	関ヶ原合戦について調べよう
	8/17	20名	29名	縄文人の暮らしを体験しよう
	8/18	30名	32名	火おこし器をつくろう
	8/31	30名	31名	鉱物探し～パンニング体験～
	9/ 7	20名	14名	むかしたんけんたい
	9/21	30名	32名	まが玉をつくろう
	9/28	30名	11名	弥生の土笛をつくろう
	10/19	100名	139名	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
	10/19	30名	3名	川の生き物を観察しよう
	10/20	100名	中止	オータムフェスティバル けんぱくワークショップ
	10/26	20名	中止	(新) 秋のナイトウォッキング
講演会	11/ 3	なし	173名	秋まつり けんぱくワークショップ
	11/16	100名	93名	徳山の暮らしを体験しよう
	11/23	30名	49名	たねであそぼう
	11/30	30名	28名	鉱物探し～パンニング体験～
	12/21	30名	29名	鉱物アクセサリーをつくろう
	1/ 7	200名	128名	七草がゆを食べよう
	1/13	30名	24名	化石アクセサリーをつくろう
	3/ 2	30名	13名	木でひな人形をつくろう
	3/29	20名	11名	草木でコースターを染めよう
	4/13	10名	13名	化石プレバレーター養成講座
	4/17	なし	24名	里山ウォッキング
	5/11	10名	12名	化石プレバレーター養成講座
	5/12	10名	2名	謡曲入門
	5/15	なし	15名	里山ウォッキング
	5/18	30名	18名	古文書入門
	6/15	10名	9名	化石プレバレーター養成講座
	6/19	なし	1名	里山ウォッキング
	7/13	10名	11名	化石プレバレーター養成講座

事業名	期日	定員	参加	内 容
講 座 講 演 会	7/17	なし	9名	里山ウォッキング
	7/28	15名	1名	乗鞍 高山植物観察会
	8/10	10名	10名	化石プレバレーター養成講座
	8/21	なし	25名	里山ウォッキング
	9/18	なし	15名	里山ウォッキング
	9/23	120名	119名	特別展記念講演会「荒尾南住人達の思いを読み解く」
	10/12	10名	10名	化石プレバレーター養成講座
	10/14	20名	6名	謡曲入門
	10/16	なし	3名	里山ウォッキング
	11/ 2	30名	19名	古文書入門
	11/16	30名	19名	縮緬（ちりめん）でストラップをつくろう
	11/17	30名	12名	縮緬（ちりめん）でストラップをつくろう
	11/20	なし	8名	里山ウォッキング
	12/14	30名	13名	古文書入門
	12/18	30名	1名	里山ウォッキング
	1/ 4	20名	5名	春の七草ウォッキング
	1/15	なし	11名	里山ウォッキング
	1/19	20名	26名	ボールペン画体験
	2/ 1	10名	11名	ニワトリの頭骨標本をつくろう
	2/ 8	30名	12名	古文書入門
	2/ 9	30名	12名	講座「岐阜のほとけたち」平成25年度版 講演
	2/19	なし	12名	里山ウォッキング
	2/22	なし	19名	気軽にはじめる鉛筆デッサン
	3/15	120名	110名	企画展記念講演会
	3/19	なし	20名	里山ウォッキング
	3/19	なし	8名	モニタリングサイト1000里地調査報告会
合 計		2118名		

## ② わくわく体験コーナー

わくわく体験コーナーは、昨年度より毎週日曜日の開催としたことが参加者に定着してきたと思われ、参加者数が大幅に増加した。延べ65回開催し、3,034人の参加者があった。体験メニューも化石クリーニング体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくりといった定番メニューのほか、まゆ人形づくり、はたおり機でコースターをつくろう、どんぐり標本づくりといった期間限定メニュー、拓本づくり、水晶ジオード割りといった企画展関連メニューも実施し、幅広いニーズに対応した。

### ＜わくわく体験コーナー＞

実施回数	参加人数	実施メニュー
65	3,034	化石クリーニング体験、化石レプリカづくり、万華鏡づくり、まゆ人形づくり、はたおり機でコースターをつくろう、どんぐり標本づくり、拓本づくり、水晶ジオード割り

## ③ 展示解説

常設展展示解説は、毎日午前11時と午後2時に解説員により行った。延べ357回、2,049人の参加があった。テーマは日替わりで、恐竜の話、合掌づくり、輪中の暮らし、大昔の人々の暮らし、大地のなりたちなどについてわかりやすく解説した。また、企画展展示解説は企画展開催中に随時担当学芸員により行った。延べ21回、291人の参加があった。企画展の展示について掘り下げながら、わかりやすく解説した。

## ＜展示解説＞

	実施回数	参加人数	内 容
常設展	357	2,049	解説員による常設展展示解説
企画展	21	291	担当学芸員による企画展展示解説

## ④ 団体利用

団体利用は、200団体、11,341人で、全入館者数のおよそ4分の1を占めている。美濃地区、岐阜地区、西濃地区の小学校や幼稚園・保育園の利用が多い。

学習活動では、生活科との関連を重視し、百年公園の自然を活用した「秋みつけ」や「秋のおもちゃづくり」などの体験活動を多く実施した。

展示では、人文展示室1の「郷土の百年」コーナーを活用し、小学生の社会科の学習「古い道具と昔の暮らし」に対応した解説を行った。屋外展示の旧徳山村民家では、囲炉裏や洗濯板を使った体験活動を実施し、昔の暮らしを実感を持って理解するように努めた。

今年度は、「秋みつけ」「秋のおもちゃづくり」「昔の暮らし体験」などの体験活動において、博物館サポートの協力を依頼し、活動の準備や片付け、子どもへの指導や声かけなどの支援を実施した。

<平成 25 年度 団体利用一覧>

月	日	曜	所在地	学校団体	対象	人数	活動内容
4	13	土	岐阜県(関市)	岐阜県警察学校	初任科生	123	展示解説
4	14	日	関市	芹沢光治良文学愛読者交流会	一般	51	自由観覧
4	25	木	岐阜市	三輪北小学校	小6年	22	展示セルフガイド三輪の遺跡
4	25	木	岐阜市	三輪北小学校	小5年	21	展示セルフガイド自然環境と水田
5	2	木	北名古屋市	五条小学校	小2年	83	展示解説展示セルフガイド
5	2	木	愛知県(一宮市)	愛知県立一宮東養護学校	中学部	162	自由観覧
5	4	土	関市	小屋名子ども会	小中学生	116	展示セルフガイド
5	11	土	岐阜市	岐阜保健短期大学	大学生	126	展示解説自然分野の研修
5	14	火	関市	桜ヶ丘小学校	小1年	79	展示解説展示セルフガイド
5	15	水	関市	桜ヶ丘小学校	小2年	87	生活科学習自然散策
5	16	木	岐阜県(岐阜市)	岐阜県総合教育センター・博物館活用講座	教員	7	自然分野の研修
5	18	土	川辺町	川辺町民生児童委員	家族	17	展示解説ものづくり体験
5	21	火	稻沢市	稻沢北小学校	小3年	56	展示セルフガイド
5	21	火	北名古屋市	師勝西小学校	小3年	93	展示解説展示セルフガイド
5	21	火	岐阜市	芥見東小学校	小6年	110	展示セルフガイド芥見の遺跡
5	22	水	岐阜県(岐阜市)	岐阜県小中学校教育研究会・小学校社会科部会	教員	49	施設利用
5	22	水	稻沢市	仏像を見る会	一般	22	自由観覧
5	23	木	稻沢市	下津小学校	小3年	122	展示セルフガイド社会科学習
5	23	木	関市	金竜小学校	小3年	126	自然散策
5	23	木	岐阜県(岐阜市)	自然保護員研修会	一般	28	施設利用
5	28	火	岐阜県(関市)	岐阜県博物館協会通常総会、県民文化講演会	一般	102	施設利用
5	28	火	関市	金竜小学校	小1年	116	生活科学習
5	29	水	稻沢市	丸甲小学校	小全学年	153	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
5	29	水	稻沢市	六輪小学校	小2年	81	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
5	29	水	各務原市	那加幼稚園	年中	69	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
5	30	木	各務原市	那加幼稚園	年少	59	展示解説
6	6	木	美濃市	ふたば幼稚園	年長	43	自然散策
6	6	木	岐阜県(岐阜市)	楽生会老人クラブ	一般	20	自由観覧
6	6	木	岐阜県(岐阜市)	岐阜県高等学校教育研究会・地歴公民部会	教員	56	施設利用
6	7	金	関市	富岡小学校	小2年	80	生活科学習自然散策
6	13	木	岐阜市	シルバータウン岩井(福祉法人・三輪会)	福祉	43	自由観覧
6	14	金	名古屋市	名古屋教育文化センター	幼児	43	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
6	16	日	高岡市	年金者組合高岡支部	一般	20	展示解説
6	18	火	美濃加茂市	蜂屋保育園	年長	32	展示解説展示セルフガイド
6	20	木	関市	富岡小学校	小6年	6	総合學習
6	21	金	羽島市	平成16年度県シルバー大学卒業生	一般	40	自由観覧
6	27	木	関市	旭ヶ丘小学校	小4年	68	展示解説
7	4	木	可児市	可児市特別支援教育育成会	中学生	55	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
7	11	木	岐阜市	岩小学校	小3年	39	展示セルフガイド自然散策
7	19	金	一宮市	平安幼稚園	年長	122	展示解説展示セルフガイド
7	20	土	関市	中部学院大学	大学生	52	展示解説
7	20	土	八百津町	錦津中組子ども会	児童	38	展示セルフガイドものづくり体験
7	31	水	岐阜県(岐阜市)	団体利用研修会	教員	66	博物館利用の研修
8	2	金	岐阜県(岐阜市)	岐阜県緑化推進委員会(社団法人)	児童	113	展示解説自然散策
8	3	土	岐阜市	団体利用研修会	教員	16	博物館利用の研修
8	6	火	岐阜市	団体利用研修会	教員	51	博物館利用の研修
8	8	木	岐阜県(岐阜市)	岐阜県高等学校教育研究会・農業・環境系部会	教員	31	施設利用
8	8	木	岐阜市	かぐや第一幼稚園	年長	23	展示解説展示セルフガイド
8	9	金	郡上市	まどか保育園	年長	20	展示解説展示セルフガイド
8	21	水	関市	関市小中学校教育研究会・小学校理科部会	教員	21	ものづくりの研修博物館の利用研修
8	21	水	関市	関市小中学校教育研究会・小学校生活科部会	教員	11	自然散策の研修
8	21	水	関市	関市小中学校教育研究会・中学校理科部会	教員	17	自然散策の研修
8	21	水	岐阜県(岐阜市)	岐阜県小中学校教育研究会・中学校理科部会	教員	65	施設利用
8	22	木	岐阜市	日本生物教育学会(岐阜女子大)	一般	40	展示解説
8	23	木	滋賀県	滋賀県立八日市高校	高2年	42	自由観覧
8	27	火	岐阜市	かぐや第三幼稚園	年長	38	展示解説展示セルフガイド
8	27	火	大垣市	カナディアーナ・イングリッシュスクール	小学生	31	展示解説展示セルフガイド
8	28	水	長良医療センター	長良医療センター	小中学生	13	展示セルフガイド
8	30	金	海津市	海津市教頭会	教員	13	自然分野の研修
9	12	木	養老町	養老町果樹振興会	一般	28	展示解説
9	13	金	関市	洞戸小学校	小6年	18	展示解説開場式参加
9	13	金	関市	板取小学校	小5・6年	12	展示解説開場式参加
9	26	水	岐阜市	岐阜小学校	小4年	42	展示解説展示セルフガイド
9	27	木	一宮市	ラボルトイインターナショナル幼稚園	年中	28	展示解説展示セルフガイド
10	1	火	関市	富岡小学校	小1年	86	展示解説生活科学習映像鑑賞
10	2	水	関市	南ヶ丘小学校	小1・2年	33	展示セルフガイド生活科学習
10	2	水	瑞穂市	西小学校	小2年	53	展示解説展示セルフガイド

月	日	曜	所在地	学校団体	対象	人数	活動内容
10	3	木	大野町	西小学校	小3年	30	展示セルフガイド社会科学習
10	3	木	稻沢市	国分小学校	小3年	65	展示セルフガイド社会科学習
10	3	木	七宗町	上麻生中学校	中2年	3	職業体験
10	4	金	関市	武儀東小学校	小1・2年	30	展示解説展示セルフガイド生活科学習
10	4	金	関市	武儀東小学校	小3年	15	展示セルフガイド自然散策
10	4	金	関市	寺尾小学校	小1・2年	17	生活科学習
10	4	金	関市	寺尾小学校	小3・4年	10	展示セルフガイド社会科学習
10	4	金	岐阜市	芥見小学校	小1年	64	展示セルフガイド生活科学習
10	4	金	岐南町	東小学校	小1年	98	展示解説展示セルフガイド
10	4	金	稻沢市	稻沢東小学校	小3年	162	展示セルフガイド
10	4	金	七宗町	上麻生中学校	小2年	3	職業体験
10	4	金	大府市	大府市文化財保護委員研修	一般	9	展示解説
10	8	火	関市	武儀西小学校	小1・2年	17	展示解説展示セルフガイド生活科学習
10	8	火	関市	武儀西小学校	小3年	6	展示セルフガイド
10	8	火	海津市	東江小学校	小1・2年	33	展示セルフガイド生活科学習
10	8	火	美濃加茂市	加茂野小学校	小3年	28	生活科学習
10	9	水	岐阜市	網代小学校	小1・2年	103	社会科学習
10	9	水	本巣市	本巣小学校	小4年	28	展示解説展示セルフガイド生活科学習映像鑑賞
10	9	水	犬山市	犬山市適応指導教室ゆうゆう	小中学生	55	展示解説展示セルフガイド
10	9	水	関市	小金田中学校	中2年	16	展示解説展示セルフガイド
10	10	木	関市	富野小学校	小1・2年	7	職業体験
10	10	木	岐阜市	合渡小学校	小2年	36	展示セルフガイド生活科学習
10	10	木	大垣市	墨俣小学校	小1年	72	展示解説展示セルフガイド
10	10	木	美濃加茂市	加茂野小学校	小5年	40	展示解説展示セルフガイド生活科学習
10	10	木	関市	小金田中学校	小2年	124	展示セルフガイド映像鑑賞
10	11	金	関市	洞戸小学校	小1・2年	7	職業体験
10	11	金	岐阜市	則武小学校	小1年	29	展示解説生活科学習
10	11	金	江南市	古知野北小学校	小2年	78	生活科学習
10	11	金	土岐市	泉小学校	小4年	77	展示解説展示セルフガイド
10	11	金	関市	小金田中学校	小2年	115	展示セルフガイド
10	13	日	岐阜県(関市)	岐阜県警察学校	初任科	7	職業体験
10	17	木	岐阜市	日野小学校	小1年	48	展示解説
10	17	木	富加町	富加小学校	小1年	85	展示解説
10	17	木	江南市	古知野西小学校	小3年	61	展示セルフガイド生活科学習
10	17	木	江南市	草井小学校	小2年	107	展示解説展示セルフガイド
10	17	木	一宮市	朝日東小学校	小1年	77	展示解説展示セルフガイド
10	17	木	郡上市	大和西小学校	小5年	68	展示解説展示セルフガイド
10	17	木	関市	関市小中学校教育研究会・環境教育部会	教員	22	展示解説展示セルフガイド
10	18	金	関市	博愛小学校	小1年	11	自然散策の研修
10	18	金	関市	博愛小学校	小2年	39	生活科学習
10	18	金	山県市	富岡小学校	小2年	36	生活科学習
10	18	金	岐阜市	中部学院大学附属幼稚園	幼児	54	展示解説展示セルフガイド生活科学習
10	22	火	岐阜県(岐阜市)	岐阜県総合教育センター・博物館活用講座	教員	73	展示セルフガイド
10	22	火	関市	上之保小学校	小1・2年	15	自然分野の研修
10	22	火	大野町	北小学校	小5年	22	展示解説展示セルフガイド
10	23	水	岐阜市	島小学校	小5年	49	展示解説展示セルフガイド
10	23	水	郡上市	相生小学校	小1年	124	展示セルフガイド
10	23	水	小牧市	小牧小学校	小3年	32	展示セルフガイド生活科学習
10	23	水	一宮市	今伊勢中学校	中1年	118	展示セルフガイド社会科学習
10	23	水	小牧市	東部市民センターゆうゆう学級	一般	36	展示セルフガイド
10	24	木	関市	旭ヶ丘小学校	小2年	36	自由観覧
10	24	木	美濃市	中有知小学校	小2年	57	展示セルフガイド生活科学習
10	24	木	岩倉市	曾野小学校	小1年	45	展示解説展示セルフガイド生活科学習映像鑑賞
10	24	木	一宮市	今伊勢小学校	小2年	110	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
10	24	木	江南市	古知野東小学校	小2年	159	展示セルフガイド映像鑑賞
10	24	木	岐阜市	藍川中学校	小2年	127	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
10	25	金	関市	旭ヶ丘小学校	小1年	6	職業体験
10	25	金	下呂市	下原小学校	小4年	58	展示解説展示セルフガイド生活科学習映像鑑賞
10	25	金	岐阜市	藍川中学校	中2年	18	展示セルフガイド
10	27	日	名古屋市	南山大学人類学博物館	一般	6	職業体験
10	29	火	関市	瀬尻小学校	小1年	19	展示解説
10	29	火	岐阜市	方県小学校	小1・2年	79	展示解説展示セルフガイド生活科学習
10	29	火	岐阜市	鷺山小学校	小1年	30	展示解説展示セルフガイド生活科学習
10	29	火	岐阜市	西郷小学校	小1年	87	展示セルフガイド生活科学習映像鑑賞
10	29	火	江南市	門弟山小学校	小3年	93	展示解説展示セルフガイド生活科学習
10	30	水	関市	金竜小学校	小1年	78	展示セルフガイド
10	30	水	関市	倉知小学校	小1年	117	生活科学習
10	30	水	関市	倉知小学校	小2年	81	展示解説生活科学習
						81	展示セルフガイド生活科学習

月	日	曜	所在地	学校団体	対象	人数	活動内容
10	31	木	関市	下有知小学校	小1年	75	生活科学習
11	1	金	可児市	旭小学校	小2年	99	展示解説展示セルフガイド生活科学習総合学習
11	1	金	八百津町	八百津小学校	小5年	26	展示セルフガイド
11	1	金	清須市	桃栄小学校	小1年	58	展示セルフガイド社会科学習
11	1	金	稻沢市	領内小学校	小2年	67	展示セルフガイド社会科学習
11	1	金	江南市	江南市適応指導教室 YOU・輝	小中学生	11	博物館授業博物館授業
11	1	金	関市	中部学院大学附属・桐ヶ丘幼稚園	年少	107	博物館授業博物館授業
11	1	金	美濃市	松美保育園	年長	28	展示セルフガイド
11	6	水	関市	板取小学校	小1・2年	10	生活科学習
11	6	水	各務原市	中央小学校	小1年	72	展示セルフガイド生活科学習
11	6	水	岐南町	西小学校	小1・2年	85	展示解説生活科学習
11	6	水	関市	桜ヶ丘中学校	中2年	5	職業体験
11	7	木	関市	下有知小学校	小2年	80	展示解説展示セルフガイド生活科学習映像鑑賞
11	7	木	関市	中部学院大学附属・桐ヶ丘幼稚園	年長	80	展示セルフガイド
11	7	木	大垣市	大垣市社会福祉事業団	福祉	21	自由観覧
11	7	木	関市	桜ヶ丘中学校	中2年	5	職業体験
11	8	金	笠松町	下羽栗小学校	小1・2年	124	生活科学習
11	8	金	岐阜市	長良小学校	小4年	91	展示セルフガイド
11	8	金	羽島市	中央小学校	小3年	174	展示セルフガイド社会科学習
11	8	金	美濃市	大矢田小学校	小1・2年	34	展示セルフガイド
11	8	金	関市	関保育園	年長	34	展示解説展示セルフガイド
11	8	金	関市	桜ヶ丘中学校	中2年	5	職業体験
11	8	金	東京都	日本博物館協会視察	一般	42	展示解説
11	9	土	養老町	養老町中央公民館	小3年	54	展示解説展示セルフガイド
11	12	火	関市	安桜小学校	小2年	78	展示解説展示セルフガイド生活科学習
11	13	水	岐阜市	長森東小学校	小1年	89	展示セルフガイド生活科学習
11	19	火	大野町	大野小学校	小5年	98	展示解説展示セルフガイド
11	19	火	岐阜市	早田小学校	小1年	74	展示セルフガイド生活科学習
11	19	火	本巣市	席田小学校	小3年	66	展示セルフガイド社会科学習
11	19	火	関市	中部学院大学附属・桐ヶ丘幼稚園	年中	74	展示解説展示セルフガイド
11	20	水	各務原市	鵜沼第一小学校	小1年	122	生活科学習
11	21	木	岐阜市	長良東小学校	小1年	128	展示セルフガイド生活科学習
12	3	火	関市	田原小学校	小1年	64	展示解説展示セルフガイド生活科学習
12	3	火	郡上市	白鳥中学校	中1年	124	展示解説 (SPP事業)
12	4	水	中津川市	西小学校	小3年	104	展示セルフガイド社会科学習
12	6	木	笠松町	松枝小学校	小2年	101	展示セルフガイド生活科学習
12	6	木	郡上市	八幡西中学校	中1年	26	展示解説 (SPP事業)
12	8	日		小笠原長清公顕彰会	一般	26	自由観覧
12	10	火	本巣市	外山小学校	小5・6年	22	展示解説展示セルフガイド
12	13	金	関市	田原小学校	小2年	57	展示解説展示セルフガイド生活科学習映像鑑賞
12	17	火	笠松町	笠松保育園	年長	24	展示解説展示セルフガイド
1	15	水	山県市	はなぞの北幼稚園	年長	27	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
1	21	火	関市	下有知小学校	小3年	79	展示セルフガイド社会科学習
1	24	金	海津市	高須小学校	小4年	68	展示セルフガイド社会科学習
1	26	日	岐阜市	岐阜女子大学	一般	13	施設利用
1	28	火	関市	富野小学校	小3年	21	展示セルフガイド社会科学習
1	29	水	養老町	上多度小学校	小3年	30	展示セルフガイド社会科学習
1	31	水	海津市	下多度小学校	小4年	22	展示セルフガイド
2	6	木	岐阜市	長良中学校	中2年	4	職業体験
2	12	水	各務原市	蘇原第一小学校	小4年	184	展示セルフガイド
2	14	金	郡上市	和良小学校	小4年	20	展示セルフガイド
2	14	金	関市	虹ヶ丘幼稚園	年長	104	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
2	14	金	岐阜県(関市)	百年公園連携協働会議	一般	19	施設利用
2	20	木	関市	金竜小学校	小3年	122	展示セルフガイド社会科学習
2	21	金	岐阜県(岐阜市)	岐阜県小中学校教育研究会・小学校社会科部会	教員	55	施設利用
2	28	木	美濃加茂市	太田第二保育園	年長	54	展示解説映像鑑賞
3	4	火	名古屋市	名城大学・博物館展示論実習	大学生	26	自由観覧
3	6	木	美濃加茂市	古井第二保育園	年長	52	展示解説映像鑑賞
3	7	金	岐阜市	常盤保育園	年長	37	展示解説
3	7	金	美濃加茂市	加茂野保育園	年長	61	展示解説展示セルフガイド映像鑑賞
3	14	金	関市	安桜保育園	全園児	83	展示解説展示セルフガイド
3	14	金	美濃加茂市	伊深保育園	年長	32	展示解説展示セルフガイド
3	14	金	美濃加茂市	三和保育園	年長	14	展示解説展示セルフガイド
3	28	金	美濃加茂市	加茂野交流センター	小学生	54	展示解説展示セルフガイドものづくり体験

団体数	人数
161	9,586
39	1,658
200	11,244

## ⑤ 出前授業・講師派遣

出前授業の実施回数は 30 回（そのうち小中学校 20 回）であった。また、講師に招聘されたのは 9 回であった。

招聘先としては各種団体が中心で、職員研修、地域学習、生涯学習の場として、様々な目的に活用されていた。

### ＜出前授業＞

期 日	用 務 先	対象児童等	人 数	会 場	授業内容
平成 25 年 4 月 19 日	北方町生涯学習センター	一般	120	北方町生涯学習センター	濃尾震災と北方町
平成 25 年 5 月 10 日	美濃市立大矢田小学校	5 年生	20	美濃市立大矢田小学校	外来種について
平成 25 年 5 月 10 日	美濃市立藍見小学校	4 年生	30	美濃市立藍見小学校	外来種について
平成 25 年 5 月 31 日	美濃商工会議所	会員・一般	60	みの観光ホテル	新島八重的ハンサムライフ
平成 25 年 6 月 6 日	郡上市吉田小学校	5 年生	17	粥川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 6 月 11 日	関市瀬尻小学校	4 年生	68	長良川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 6 月 13 日	山県市富岡小学校	4 年生	65	鳥羽川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 6 月 14 日	岐阜市網代小学校	4 年生	15	板屋川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 6 月 17 日	関市板取中学校	1 年生	8	板取川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 6 月 20 日	加茂郡上麻生小学校	4 年生	18	上麻生小学校	ホタル講話
平成 25 年 6 月 21 日	関市立下有知小学校	5 年生	80	関市立下有知小学校	外来種について
平成 25 年 6 月 22 日	加茂郡七宗町	一般	20	七宗町公民館、神渕川	カワゲラウォッキング、ホタル観察
平成 25 年 6 月 25 日	関市旭ヶ丘小学校	5 年生	70	吉田川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 6 月 28 日	関市武儀東小学校	4 年生	12	津保川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 7 月 1 日	山県市富岡小学校	4 年生	65	鳥羽川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 7 月 30 日	揖斐川町歴史民俗資料館	小中学生	30	揖斐川町歴史民俗資料館	まが玉をつくろう
平成 25 年 7 月 31 日	揖斐川町歴史民俗資料館	小中学生	30	揖斐川町歴史民俗資料館	まが玉をつくろう
平成 25 年 8 月 1 日	関市中池	幼稚園新採者	120	関市立中池自然の家	自然観察
平成 25 年 8 月 21 日	郡上市美並町	小中高生	15	粥川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 8 月 23 日	郡上市美並町	小中高生	15	粥川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 10 月 2 日	関市倉知小学校	5 年生	87	津保川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 10 月 4 日	関市立富岡小学校	4 年生	45	関市立富岡小学校	外来種について
平成 25 年 10 月 19 日	関市迫間	一般	30	迫間川	カワゲラウォッキング、川の中の生物観察
平成 25 年 10 月 23 日	関市立南ヶ丘小学校	3・4・5 年生	120	関市立南ヶ丘小学校体育館	化石レプリカづくり・化石の話
平成 25 年 10 月 24 日	神戸中学校進路学習会	中学 1 年生	16	神戸町立神戸中学校	考古学の話
平成 25 年 10 月 30 日	関市瀬尻小学校	4 年生	68	長良川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 11 月 1 日	関市倉知小学校	5 年生	87	長良川	カワゲラウォッキング
平成 25 年 11 月 23 日	鵜沼第一小学校	4・5・6 年生	62	鵜沼第一小学校理科室	化石レプリカづくり・化石の話
平成 26 年 2 月 6 日	関市立倉知小学校	3 年生	81	関市立倉知小学校	昔の道具と昔のくらし
平成 26 年 3 月 4 日	関市立旭ヶ丘小学校	6 年生	72	関市立旭ヶ丘小学校図工室	化石レプリカづくり・化石の話

### ＜講師派遣＞

期 日	依 賴 先	対象児童等	人 数	授 業 内 容
平成 25 年 8 月 29 日	岐阜大学教育学部	大学生	5	講義
平成 25 年 11 月 13 日	岐阜大学教育学部	大学生	5	講義
平成 25 年 11 月 18 日	岐阜大学教育学部	大学生	5	講義
平成 25 年 11 月 23 日	滋賀県立琵琶湖博物館	化石研究会会員	60	化石研究会例会での講演
平成 26 年 1 月 9 日	岐阜大学教育学部	大学生	5	講義
平成 26 年 2 月 13 日	名古屋大学理学部	大学教諭・学生	20	講義
平成 26 年 2 月 15 日	岐阜大学教育学部	大学生	15	講義
平成 26 年 3 月 3 日	東北大学理学部	大学教諭	3	講義
平成 26 年 2 月 3-5 日	東京大学総合研究博物館	大学教諭・学生	10	共同研究活動

⑥ 資料の貸し出し

	機 関 名	資 料 名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
人	岐阜県現代陶芸美術館	木彫レリーフ ダンサー他	平成 24 年 8 月 1 日	平成 25 年 7 月 16 日	4
	岐阜市歴史博物館	十六銅鐸	平成 25 年 3 月 20 日	平成 25 年 5 月 31 日	1
	岐阜市歴史博物館	円満寺山古墳出土三角縁神獸鏡	平成 25 年 3 月 20 日	平成 25 年 5 月 31 日	1
	東京国立博物館他	紺地白鷺文繡狩衣	平成 25 年 3 月 21 日	平成 25 年 6 月 13 日	1
	NHK プロモーション	紺地白鷺文繡狩衣	平成 25 年 4 月 9 日	平成 26 年 3 月 9 日	1
	宗教法人 濟法寺	十一面觀音立像（レプリカ）他	平成 25 年 5 月 1 日	平成 26 年 4 月 30 日	5
	(株) PHP 研究所	歌川国利筆「岐阜市街大地震之図」(画像)	平成 25 年 5 月 2 日	平成 25 年 6 月 3 日	1
	(株) 岐阜新聞社	十一面觀音立像（画像）	平成 25 年 6 月 4 日	平成 25 年 6 月 10 日	1
	日本テレビ放送網株式会社	渓斎英泉筆「岐路阻ノ駅 河渡 長柄川鵜飼船」(画像)	平成 25 年 6 月 18 日	平成 25 年 6 月 18 日	1
	サントリー美術館	菩薩坐像（ポジ）	平成 25 年 6 月 18 日	平成 26 年 1 月 31 日	2
	岐阜県美術館	タペストリー「長良川」	平成 25 年 9 月 3 日	平成 25 年 11 月 1 日	1
	ヨツハシ株式会社	ローラー式洗濯機	平成 25 年 9 月 27 日	平成 27 年 4 月 30 日	2
	岐阜市歴史博物館	四天王立像（ポジ）	平成 25 年 9 月 27 日	平成 25 年 12 月 1 日	4
	岐阜市歴史博物館	四天王立像	平成 25 年 9 月 27 日	平成 25 年 12 月 1 日	4
	サントリー美術館	菩薩坐像	平成 25 年 10 月 28 日	平成 26 年 1 月 27 日	2
	個人	円満寺山古墳出土三角縁神獸鏡（画像）	平成 25 年 12 月 1 日	平成 25 年 12 月 31 日	1
	個人	文楽人形 お染	平成 26 年 1 月 31 日	平成 26 年 1 月 31 日	1
	関市教育委員会	陽徳寺裏山古墳出土資料（画像）	平成 26 年 2 月 19 日	平成 26 年 3 月 31 日	1
	大垣市教育委員会	十六銅鐸（画像）	平成 26 年 3 月 1 日	平成 26 年 3 月 31 日	1
	美濃市役所	柳原要二氏の写真（画像）	平成 25 年 4 月 3 日	平成 26 年 3 月 31 日	1
自	岐阜市歴史博物館	哺乳動物剥製標本	平成 25 年 4 月 4 日	平成 25 年 5 月 31 日	3
	岐阜市立長良中学校	鳥類骨格標本	平成 25 年 4 月 7 日	平成 25 年 4 月 14 日	5
	岐阜県食肉衛生検査所	家畜頭骨標本	平成 25 年 4 月 10 日	平成 25 年 7 月 9 日	3
	河川環境楽園	鳥類剥製標本	平成 25 年 5 月 2 日	平成 25 年 5 月 2 日	28
	各務原市立鵜沼第一小学校	哺乳動物剥製標本	平成 25 年 5 月 18 日	平成 25 年 5 月 25 日	1
	河川環境楽園	オオグソクムシ	平成 25 年 5 月 31 日	平成 25 年 6 月 11 日	1
	岐阜市立長良小学校	昆虫標本セット	平成 25 年 6 月 10 日	平成 25 年 6 月 21 日	8
	中山道みたけ館	鳥類剥製標本	平成 25 年 6 月 19 日	平成 25 年 8 月 23 日	69
	郡上市教育委員会	植物標本データ（画像）	平成 25 年 6 月 25 日	平成 25 年 7 月 4 日	4
	岐阜県立揖斐特別支援学校	化石レプリカキット	平成 25 年 6 月 29 日	平成 25 年 7 月 15 日	10
	美濃市横腰自治会	美濃隕石落下位置情報（画像）	平成 25 年 7 月 1 日	平成 25 年 7 月 1 日	2
	読売新聞事業開発部	ナウマンゾウ全身骨格	平成 25 年 7 月 1 日	平成 25 年 9 月 24 日	1
	可児市教育委員会	昆虫標本	平成 25 年 7 月 2 日	平成 25 年 9 月 1 日	12
	読売新聞事業開発部	ナウマンゾウ全身骨格（画像）	平成 25 年 7 月 13 日	平成 25 年 8 月 16 日	1
	中津川市立坂下中学校	哺乳類頭骨標本	平成 25 年 7 月 15 日	平成 25 年 7 月 20 日	17
	光ミュージアム	美濃隕石他	平成 25 年 7 月 17 日	平成 25 年 9 月 17 日	2
	高山市立花里小学校	化石レプリカキット	平成 25 年 7 月 21 日	平成 25 年 7 月 28 日	50
	岐阜市科学館	動物剥製標本	平成 25 年 7 月 23 日	平成 25 年 9 月 6 日	12
	岐阜サマーサイエンススクール実行委員会	頭骨標本	平成 25 年 8 月 3 日	平成 25 年 8 月 12 日	3
	岐阜女子大学	鳥類剥製標本	平成 25 年 8 月 17 日	平成 25 年 8 月 20 日	4
	エコミュージアム関ヶ原	鳥類剥製標本	平成 25 年 9 月 1 日	平成 25 年 11 月 29 日	6
	あすなろ会	動物剥製標本	平成 25 年 9 月 16 日	平成 25 年 9 月 18 日	3
	テレビ朝日編成制作局	オオサンショウウオ（画像）	平成 25 年 9 月 18 日	平成 25 年 9 月 18 日	1
	本巣市立本巣小学校	カワゲラウォッティング用同定シート	平成 25 年 9 月 19 日	平成 25 年 9 月 20 日	14
	野村動物病院	哺乳類頭骨標本	平成 25 年 9 月 21 日	平成 25 年 9 月 29 日	7
	美濃加茂市立昭和中学校	哺乳類頭骨標本	平成 25 年 9 月 28 日	平成 25 年 10 月 6 日	6
	茨城県自然博物館	放散虫の復元モデル	平成 25 年 10 月 1 日	平成 26 年 1 月 31 日	2
	白川町立黒川小学校	化石標本	平成 25 年 10 月 5 日	平成 25 年 10 月 14 日	18
	美濃加茂市立西中学校	哺乳類頭骨標本	平成 25 年 10 月 6 日	平成 25 年 10 月 12 日	26
	岐阜市立常盤小学校	化石レプリカキット	平成 25 年 10 月 10 日	平成 25 年 10 月 18 日	40
	河川環境楽園	コウモリ標本	平成 25 年 10 月 11 日	平成 25 年 10 月 16 日	6
	岐阜市立陽南中学校	ハチの巣実物標本	平成 25 年 10 月 12 日	平成 25 年 11 月 11 日	1
	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ	コウベモグラ標本	平成 25 年 11 月 1 日	平成 25 年 11 月 30 日	2
	読売新聞事業開発部	ナウマンゾウ全身骨格（画像）	平成 25 年 11 月 1 日	平成 26 年 10 月 12 日	1
	海津市立大江小学校	化石レプリカキット	平成 25 年 11 月 4 日	平成 25 年 11 月 6 日	40
	海津市立西江小学校	化石レプリカキット	平成 25 年 11 月 7 日	平成 25 年 11 月 11 日	40
	大垣市立小野小学校	化石レプリカキット	平成 25 年 11 月 10 日	平成 25 年 11 月 17 日	40
	海津市立高須小学校	化石レプリカキット	平成 25 年 11 月 12 日	平成 25 年 11 月 18 日	40
	海津市立城山小学校	化石レプリカキット	平成 25 年 11 月 19 日	平成 25 年 11 月 25 日	40
	ジーグレイブ株式会社 企画部編集課	坂下断層模型（画像）	平成 25 年 11 月 21 日	平成 25 年 12 月 20 日	1

	機関名	資料名	貸出開始期日	貸出終了期日	点数
自 然	岐阜市立岐阜小学校	魚類標本	平成 25 年 11 月 22 日	平成 25 年 1 月 20 日	5
	岐阜県立飛騨神岡高校	化石レプリカキット	平成 25 年 12 月 1 日	平成 25 年 12 月 14 日	20
	海津市立吉里小学校	化石レプリカキット	平成 25 年 12 月 3 日	平成 25 年 12 月 8 日	40
	株式会社浜島書店	片麻岩露頭写真	平成 25 年 12 月 5 日	平成 25 年 12 月 31 日	1
	岐阜新聞社販売局広報センター	オオツノジカ全身骨格標本(画像)	平成 25 年 12 月 28 日	平成 26 年 1 月 12 日	2
	石川県立自然史資料館	ナウマンゾウ全身骨格(画像)	平成 26 年 1 月 4 日	平成 26 年 2 月 2 日	1
	河川環境楽園	ミシシッピアカガメ骨格標本他	平成 26 年 3 月 1 日	平成 26 年 3 月 8 日	2
	岐阜県立岐阜高校	魚類標本	平成 26 年 3 月 5 日	平成 26 年 4 月 3 日	5
	河川環境楽園	モグラ剥製標本	平成 26 年 3 月 8 日	平成 26 年 3 月 15 日	6
	岐阜市歴史博物館	剥製	平成 26 年 3 月 8 日	平成 26 年 6 月 3 日	3
					合計 691

⑦ 刊行物

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館報第 36 号	25. 4. 1	A4 32 頁	800	
平成 26 年度岐阜県博物館催し物案内	リーフレット 25. 3. 31	A4 4 ツ折	40,000	
岐阜県博物館調査研究報告第 35 号	26. 3. 31	A4 66 頁	700	
博物館ガイド	リーフレット 26. 3. 31	A4 3 ツ折	20,000	
展示セルフガイドカード	ワークシート 26. 3. 31	A4 兩面	15,000	
平成 25 年度岐阜県博物館イベントプログラム(7~9 月)	リーフレット 25. 6. 31	A4 片面	10,000	
平成 25 年度岐阜県博物館イベントプログラム(10~12 月)	リーフレット 25. 9. 31	A4 片面	8,000	
平成 25 年度岐阜県博物館イベントプログラム(1~3 月)	リーフレット 25. 12. 31	A4 片面	8,000	
平成 26 年度岐阜県博物館イベントプログラム(4~6 月)	リーフレット 26. 3. 31	A4 片面	10,000	
平成 26 年度岐阜県博物館イベントプログラム(講座・講演会)	リーフレット 26. 3. 31	A4 片面	10,000	
教育プログラムガイド	26. 3. 31	A5 52 頁	800	
【企画展刊行物】				
鍔の美 —鍔工・成木一成の挑戦—	ポスター 25. 4. 27	B2	1,500	
鍔の美 —鍔工・成木一成の挑戦—	リーフレット 25. 4. 27	A4 兩面	40,000	
鍔の美 —鍔工・成木一成の挑戦—	図録 25. 9. 30	A4 88 頁	600	
鍔の美 —鍔工・成木一成の挑戦—	子どもガイド 25. 4. 27	A4 2 ツ折	1,500	
弥生大集落 —荒尾南遺跡が語るモノと心—	ポスター 25. 9. 13	B2	2,800	
弥生大集落 —荒尾南遺跡が語るモノと心—	リーフレット 25. 9. 13	A4 兩面	110,000	
弥生大集落 —荒尾南遺跡が語るモノと心—	図録 25. 9. 13	A4 58 頁	600	
弥生大集落 —荒尾南遺跡が語るモノと心—	子どもガイド 25. 9. 13	A4 2 ツ折	1,500	
足もとのお宝 —岐阜の鉱物資源—	ポスター 25. 11. 23	B2	1,500	
足もとのお宝 —岐阜の鉱物資源—	リーフレット 25. 11. 23	A4 兩面	30,000	
足もとのお宝 —岐阜の鉱物資源—	子どもガイド 25. 11. 23	A4 2 ツ折	1,500	
岐阜県まるっと植物探検	ポスター 26. 2. 15	B2	1,500	
岐阜県まるっと植物探検	リーフレット 26. 2. 15	A4 兩面	28,000	
岐阜県まるっと植物探検	子どもガイド 26. 2. 15	A4 2 ツ折	1,500	
【マイ・ミュージアム刊行物】				
マイ・コレクション第 138 号	リーフレット 25. 4. 6	A4 兩面	1,500	
マイ・コレクション第 139 号	リーフレット 25. 5. 25	A4 兩面	1,500	
マイ・コレクション第 140 号	リーフレット 25. 7. 13	A4 兩面	1,500	
マイ・コレクション第 141 号	リーフレット 25. 8. 31	A4 兩面	1,500	
マイ・コレクション第 142 号	リーフレット 25. 10. 19	A4 兩面	1,500	
マイ・コレクション第 143 号	リーフレット 25. 12. 7	A4 兩面	1,500	
マイ・コレクション第 144 号	リーフレット 26. 2. 8	A4 兩面	1,500	
マイミュージアムギャラリー	ポスター 26. 3. 31	B2	1,600	
マイミュージアムギャラリー	リーフレット 26. 3. 31	A4 兩面	13,000	

⑧ 図書館資料(平成 26 年 3 月末現在)

	図書館資料数	備 考
一般資料	20,692	含 刀剣文庫
郷土資料	5,606	
児童書	1,337	
博物館資料	5,168	含 当館資料、棚橋文庫、熊田文庫
合計	32,803	

## (2) 広報活動

来館者の増加をめざして、広報活動の充実を図った。

## ① Web ニュースの配信

来館者の増加をめざして、催し物の様子を Web ニュースとして配信した。催し物が行われた翌日には、当館のホームページに写真と様子を伝える文章を掲載して催し物への興味を高める工夫をしてきた。この催し物では、岐阜県博物館サポーターの方々が大きく貢献した。サポーターが、Web ニュースの記事となる催し物の企画、準備、運営にかかわって活動を支える姿が多く見られた。

## ②資料配付の見直し

特別展、資料紹介展などの広報においては、チラシやポスターの布置・掲示が一つの重要な手段である。より効果的に資料を配付するために、展覧会の内容によって重点的に広報する地域や客層を絞り込み、それに応じて配付先を選択することとした。また、当館は近隣地域からの来館者が高い割合を占めている。そこで、近隣の小学校を通じて各家庭にチラシを配付し、幅広い年代に情報が行き渡るようにした。

### ③無料情報誌への情報提供

無料情報誌は地域ごとに各家庭に配付されるので、重要な広報手段の一つである。より多くの情報誌に対して掲載依頼するとともに、配付される地域ごとに掲載内容を変更したり、読者プレゼントを用意したりして、広報の効果が高まるように工夫した。

#### ④団体向け活動メニューの紹介

当館は入館者全体に占める学校団体の割合が高い。より一層の利用促進を図るため、教職員の研修会などで活動メニューと利用方法を紹介した。

### (3) 博物館実習

7月23日(火)から7月28日(日)までの6日間、岐阜大学(6名)、岐阜聖徳学園大学(4名)、岐阜女子大学(3名)、愛知学院大学(1名)、名城大学(1名)、滋賀県立大学(1名)、信州大学(1名)、同志社大学(1名)、京都女子大学(1名)の9大学から19名の学生を受け入れた。分野別の受け入れ状況は、人文10名、自然5名(植物3名、地学2名)、教育普及4名であった。実習生指導は、共通実習と選択分野別実習を担当職員によって行った。

### ＜実習内容＞

1 日目	実習開始式 館長講話 岐阜県博物館の概要・博物館学芸員の仕事 教育普及担当の仕事 自然担当の仕事・自然資料の概要 人文担当の仕事・人文資料の概要 マイミュージアムギャラリーの観覧
2 日目	人文担当の仕事・人文資料の概要 人文展示室観覧 刀剣手入れに関する講話と見学（関鍛冶伝承館） 企業博物館見学（フェザーミュージアム）
3 日目	分野別実習
4 日目	分野別実習
5 日目	分野別実習・催し物補助
6 日目	分野別実習・催し物補助 実習終了式

## 9 利用状況

### (1) 入館者数

平成 25 年度は、入館者数 51,033 人で前年に比べて 5,049 人、11% の増加となった。

入館者数が最も多かった日は「9月 23 日（祝・月）」で 4,476 人（移動博物館含）を数えた。また、団体入館者は、200 団体 11,341 人で入館者総数の 22% を占めており、月別では 10 月が 3,621 人で一番多く、団体入館者総数の 7% を占めている。

特別展期間中の入館者数は、下表のとおりである。入館者総数は 11,668 人を数え、1 日平均は 233 人であった。

月	高校生以下	大学生	一般	計	開館日数	一日平均
4	1,284	19	1,914	3,217	25	129
5	2,898	163	2,772	5,833	27	216
6	1,477	31	3,341	4,849	26	187
7	1,052	77	1,412	2,541	26	98
8	1,851	27	2,316	4,194	27	155
9	3,696	18	5,491	9,205	24	384
10	4,384	17	2,059	6,460	27	239
11	2,856	15	2,978	5,849	26	225
12	974	17	960	1,951	24	81
1	1,009	12	1,570	2,591	24	108
2	922	7	1,016	1,945	22	88
3	1,051	61	1,286	2,398	26	92
計	23,454	464	27,115	51,033	304	167

特 別 展 名	期 間	高 校 生 以 下	大 学 生	一 般	計
弥生大集落－荒尾南遺跡が語るモノと心－	9 / 13 ~ 11 / 10	6,787	36	4,845	11,668

### (2) 来館者アンケート

来館者の実態や意識を把握し博物館の運営に生かすために、アンケート調査とその結果の考察を実施している。

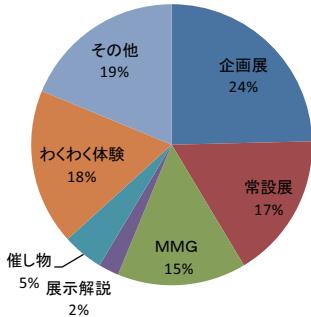


図 1 来館目的（複数選択可 n=256 , H25 年 4 月～H26 年 3 月）

来館目的では、図 1 に示すように、企画展、常設展、ギャラリー、わくわく体験の 4 項目がほぼ同程度であった。昨年度の結果と比較してみると、わくわく体験が 7 ポイント増えている。実施メニューを増やしたことや、イベント情報チラシを近隣の学校を通じて各家庭に配布したことが誘客につながったと考えられる。一方、企画展は 17 ポイント減っている。企画展が 6 回から 4 回に減ったことや、広報での露出度が相対的に減ったことが要因と考えられる。

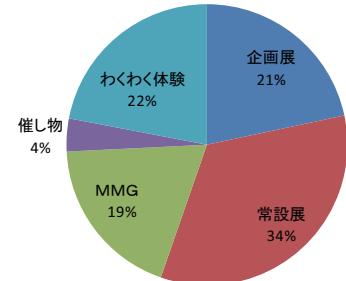


図 2 来館していただき満足できたもの  
(複数選択可 n=291 , H25 年 4 月～H26 年 3 月)

来館していただき満足できたものでは、図 2 に示すように、常設展が最も多く全体の 3 分の 1 を占め、次いで、わくわく体験、企画展、ギャラリーの 3 項目がほぼ同程度であった。常設展では、子ども連れの家族を中心に、大型で迫力ある展示やハンズオン展示、子ども用展示ワークシートなどが楽しめているようである。

来館目的と満足度との比較では、常設展、わくわく体験、MMG の 3 項目は満足度が期待以上であるのに対し、企画展は期待ほど満足できなかった傾向が見られる。本年度は、わくわく体験の情報発信に力を注いだが、今後は常設展の魅力も積極的に発信していくことが必要である。また、企画展の質をより高めて魅力ある展示にしていくことも必要と考えている。

## 10 博物館関係団体

### (1) 岐阜県博物館友の会

博物館「友の会」は、博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を図ることを目的とする会である。そのために、博物館と密接に連携を取り、博物館の事業や活動をサポートしている。

平成 25 年度の一般会員数は 220 名、後援会員は 8 団体である。この数年減少の一途であった一般会員数は漸く若干の増加となった。しかし、数年前に比べて減少していることはまちがいない。継続会員の高年齢化が進み、退会者が増えていることによるものである。

若い人たちを惹きつけるような会になるよう、博物館と一層の連携を図り、生涯学習に繋がる魅力的な活動を推進していくことが課題である。

平成 25 年度の主な事業、行事は次の通りである。

#### ① 会議

春季理事会・総会 5 月 16 日（木）  
秋季理事会 10 月 17 日（木）  
会長・副会長会 3 月 15 日（土）

#### ② 各種委員会

会報委員会 4 月 23 日（火）  
探訪委員会 11 月 7 日（木）  
七草委員会 11 月 12 日（火）、1 月 6 日（月）

#### ③ 広報誌の発行

季刊誌「友の会報」は 107 号（6 月）、108 号（10 月）、109 号（2 月）の年 3 回発行。各誌 A4 判 6 頁であるが、109 号は 8 頁とした。各 300 部発行。

#### ④ 図録の刊行と在庫図録の販売

「鍔の美」「弥生大集落」の 2 種類の図録を刊行した。また、在庫図録の販売は、館内ショップでの販売と外部施設での委託販売が中心であるが、電話での問い合わせ注文も多かった。委託による図録販売は以下の施設である。「高山陣屋」、「岐阜県世界淡水魚水族館（アクア・トトぎふ）」、「下呂温泉博物館」、「海津市歴史民俗資料館」、「レストハウス花兆」、「百年公園事務所」、「東京国立博物館」、「国立歴史民俗博物館」。

#### ⑤ 博物館との共催事業の実施

・特別行事 「七草がゆを食べよう（1 月 7 日）」は好天にも恵まれ 130 名程の来客があった。地元の市長、市議も来館、試食され、大いに賑わった。友の会七草委員の他、サポーター、ボランティアの方々の協力もあり、無病息災を願って七草がゆを来客者に提供することができた。館内では、七草のクイズや正月遊びの遊具を楽しむこともでき、大変好評であった。

・わくわく体験 児童・生徒を対象とした化石クリーニング、化石レプリカ作りなどの体験を、郷土学習室等でサポーターの協力も得て、原則毎日曜日に実施し、延べ年間 3122 名の参加者があった。

今年度は、まゆ人形作り、土器の拓本作り、どんぐりの標本箱作りなどの季節限定の体験学習も企画し、好評であった。特に、企画展「足もとのお宝」開催中に開催された「水晶ジオード割り」は大人気で、開催中 150 人余の参加者があり賑わった。

・けんぱく教室 「木のこいのぼり・五月人形」「化石のレプリカをつくろう」「まが玉をつくろう」など 34 回

#### ⑥ 友の会員の入館料助成

本年度の会員の博物館見学者は、常設展 199 名、特別展期間 42 名の計 241 名で、その入館料（団体料金相当）を友の会で助成した。

#### ⑦ 探訪の旅

友の会では、会員相互の親睦を図るとともに、見聞を広め、教養を高めるために、海外への探訪並びに国内探訪を実施している。昭和 61 年以降、今日まで国内探訪として、75 カ所の歴史的名所、旧蹟を訪ねる旅行を実施した。平成

4 年からは、更に海外探訪の旅を加え、世界遺産見学を中心とし、これまでに 14 回に及ぶ訪問国の文化と歴史を研修する旅を進めてきた。研修と見学を柱とした友の会探訪の旅の特色は次の通りである。

- ・探訪の目的を明確にして、手作りの日程を策定する。
- ・会独自の解説書を作成し、参加者全員に配布して、現地での研修、見学に活用している。

今年度の探訪の旅は以下の通りである。

- ・「浜名湖北部 古刹四寺巡りの旅」  
6 月 8 日（土） 参加者 30 名
- ・「東北の世界遺産を尋ねて」  
11 月 6 日（日）～7 日（月） 参加者 20 名

### (2) 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の交流・連携のもとに岐阜県の博物館活動の拡充発展をはかり、もって社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和 41 年に設立された。

平成 26 年 3 月現在、会員館は 128 館、個人会員は 13 名。主な役員は次の通りである。

会長…若宮多門、副会長…名和哲夫、古川秀昭、後藤弘之、榎本徹、浦谷公平、事務局は岐阜県博物館内にある。

平成 25 年度は、県民文化講演会「白隱禅画を読み解く」のほか、公開講座（年 4 回）、機関紙発行（年 3 回）、会員研修会（年 3 回）等の諸事業を行った。

また、第 61 回全国博物館大会が、「博物館の可能性—新たな博物館像をめざして—」をメインテーマに 11 月 7、8 日の両日、岐阜市内で開催された。岐阜は昭和 26 年の博物館法制定に尽力された棚橋源太郎氏の生まれ故郷であり、本大会では、あらためて棚橋氏が追求した理想の博物館像の今日的意味を探った。

メインテーマのもと、2 日間にわたり基調講演、シンポジウム、分科会などが行われ、全国の博物館関係者が課題を共有し、今後の博物館活動をよりよいものにしていくための方策を考える機会となった。

主 催 公益財団法人日本博物館協会  
共 催 岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市、岐阜市教育委員会、岐阜県博物館協会  
後 援 文部科学省  
会 場 じゅうろくプラザ（岐阜市）  
参 加 者 385 人

### <主な事業>

4/11	全国博物館大会打合せ会
4/25	協会監査
4/25	第 1 回理事会
5/28	岐阜県博物館協会通常総会
5/28	県民文化講演会
6/19	機関紙委員会
6/23 ほか	第 135 回公開講座（8/18, 9/29, 12/15, H26. 2/16）
6/29	第 136 回公開講座
7/18	東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部理事会及び総会（愛知県）
7/19	全国博物館大会第 1 回実行委員会
7/19	会長・副会長会議
9/12	第 38 回東海三県博物館協会研究交流会（三重県）
9/18	機関紙『岐阜の博物館』第 172 号発行
9/29 ほか	第 137 回公開講座（10/27, 11/24, 12/15）
10/1	全国博物館大会第 2 回実行委員会
10/1	会長・副会長会議
10/18	第 82 回会員研修会
11/7 ～ 8	第 61 回全国博物館大会（岐阜県）
11/16	第 138 回公開講座
H26. 1/21	第 83 回会員研修会
3/12	第 2 回理事会
3/13	第 84 回会員研修会
3/13	研修委員会
3/14	機関紙『岐阜の博物館』第 173 号発行
3/31	機関紙『岐阜の博物館』第 174 号発行

### III 利用案内(平成26年度)

●開館時間 4月～10月 9時～16時30分 (入館は16時まで)  
11月～3月 9時30分～16時30分 (同上)

●入館料

区分	本館		マイ・ミュージアム 無料
	通常	特別展開催中	
一般	330(270)円	600(520)円	
大学生	110(50)円	300(200)円	
小中高生	無料	無料	

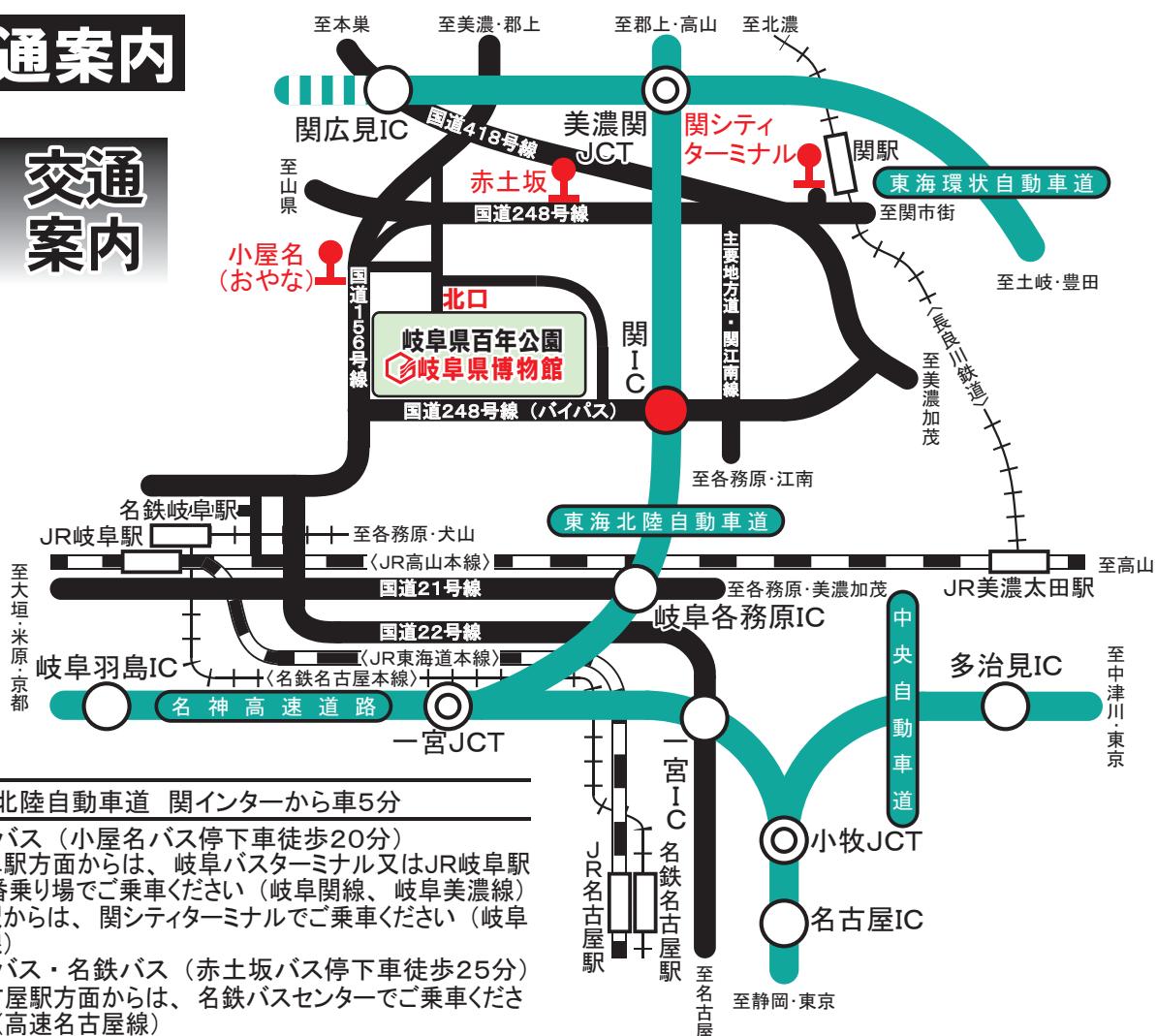
( ) は20名以上の団体

●休館日 月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)  
年末年始 (12月29日～翌年1月3日)

●駐車場 岐阜県百年公園駐車場をご利用ください。  
駐車料金・・・普通(軽)自動車310円 バス850円

## 交通案内

### 交通案内



お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場(有料)をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、北口ゲートでお申し出ください。

## **岐阜県博物館報 第37号**

平成26年（2014）4月1日 発行

編集・発行 岐阜県博物館  
関市小屋名 1989（岐阜県百年公園内）  
TEL 〈0575〉 28-3111

印 刷 株式会社 大一プリント